京城日報

(第三版) 汽車時間表 [illegible]

◎叙州城陷落

一日叙州總攻擊を開始し二日北軍の手に歸せる旨確報あり(北京特電)

▲本城攻めざるに落つ

總統府落公報に曰く、馮將軍の率ゐる北軍混成旅團は一日叙州外廓の堡壘に對し猛烈なる攻擊戰の後之を占領し二日叙州城攻擊を開始せんとするや同地商務總會及び紳士團より戰勝を祝し軍旅を犒ひ且つ南軍皆退却する故馮旅團長以下の入城を促し來り旅團長は一小部隊をして入城せしめしに南軍の隻影を認めざりしと(北京特電)

◎湖南へ增兵輸送開始

北京政府は湖南に增兵の必要を感じ山東第五師團の第十旅團を長沙に向け二日以來津浦鐵道にて輸送を開始せり(北京特電)

◎ヴエルダン戰再び激烈

ヴオーモン村落敵手に歸す

佛國公報に曰く、ヴエルダン附近の戰鬪再び激烈となり敵は遂にヴオーモン村落を占領したりヴオーの村落をも强襲したるが我軍の爲め擊退されたり(紐育電報)

◎南支動亂彙聞

▲文武官の確執

湖南將軍湯薌銘は按使沈金鑑を彈劾せる電報を袁總統に致せり其内容は湖南各縣の民心の動搖せるは沈が就任以來濫りに縣知事を更迭し私人を任用したるにありと云ふにあり然るに沈の湯將軍に關し中央政府に送れる報告は一層酷にして湯に對する帝政派の嫌疑益々深く袁總統は王占元に命じ湖北駐屯の北軍中より二個聯隊を長沙に派遣し湯を監視せしむる事とせり此文武兩長官の確執は勢ひ湖南の政局に影響を及ぼし危機を促進せしめつゝありと

▲二個師團編制

這回四川陸軍第一師を陸軍第十五師と改稱し四川陸軍第一混成旅を該師團に合併せり而して四川陸軍第一師の師長周駿は第十五師長に旅長熊祥生及び黃鵠擧はそれ〳〵第二十九第三十旅長に任命せられたり又河南の混成第七旅は岳州に向け出發の命を受けしが政府は該旅團を中心とし河南の混成一個聯隊砲騎各一個大隊を併せて一箇師團を編制しこれを第十三師と名け現旅長唐天喜を師長たらしむる事に決せり

▲南征軍の配置

四川に於ける北軍配備の現狀左の如く戰線は六百餘滇里に亙れり

重慶　第十五師(即ち四川第一師)一個旅團と一個聯隊第七師の一個聯隊第三師の一箇大隊計八千餘人
瀘州　第七師の一個大隊五百人
綦江　第十五師の一個聯隊及び一個大隊第七師の一個聯隊計四千人
江津　第十五師の一個大隊五百人
合江　第七師の一個聯隊及一個大隊計二千五百人
湖州・納溪方面　四川軍一個混成旅團及一個聯隊第三師の一旅團及一個大隊計一萬三千人
南溪　第十五師の一個大隊五百人
叙州北方　四川軍一旅團第七師一大隊、第三師第二大隊計六千五百人
屏山雷波方面　四川軍六七百人

▲禁衛軍の南征

北京政府は禁衛軍第三聯隊に對し長沙に急行すべく命せり其目的は當分長沙に駐屯して同地を警備するにありとこれ政府が湖南の形勢の愈危險に瀕せる事を覺知したるが爲ならん

◎支那責任內閣制 內容

北京政府は民心收攬の一策として責任內閣制の實行を言明せるが其機關たるべき國務會議の組織內容は大約左の如くなるべしと(北京)

一、國務會議は國務卿左右丞及各部總長を以て組織す
二、會議は國務卿を議長とし事故ある時は左右丞代理す各部總長事故ある時は次長代理するを得
三、會議の場所は政事堂公所とす
四、會期は每週一回とし外に臨時會議を開く
五、議定事項は或は元首の批准を請ひ或は各部に命じて施行せしむ
六、議題は元首國務卿各部長共に之を提出することを得

◎烟濰鐵道自辦敷設

支那交通部は芝罘商務總會の請願を容れて烟濰鐵道を自辦する計畫を立て該商會に對して百萬元の調達を引受けしめ商會は之を承諾せり總資本は一千萬元を要する豫定にして前記百萬元の外沿道に當れる福山、蓬萊、黃縣、掖縣、平度、昌邑、濰縣の七縣より百萬元、山東全省より二百萬元、各省よりの補助二百八十萬元を得不足分三百二十萬元を交通部より支出する豫算にして來五月一日より工事に著手すべしと(北京)

◎佛支合辦事業

中法實業營造公司は佛支の合辦事業にして昨冬の新設に係り土地家屋及び各種工業の經營を目的とする者なるが此度京兆尹の許可を得て北京城外に一大煉瓦製造所を設け官衙鐵道等の需用に應ずる事とせり邦人が徒らに聲を大にして何事をもなし得ざる間に佛人の合辦事業がかく活躍し來れるは注意すべき事なり(北京)

◎上海通商交涉使設置

支那政府は上海に通商交涉使なるものを設くべく其位地は淸朝時代の商約大臣と略同樣にして外國貿易の外軍事商事に關する一切の交涉事務を處辨する權限を附與すべく現外交部特派上海交涉員楊晟之に任せらるべしと(北京)

◎長白の防穀令

鴨綠江上流長白縣にては三月二十五日より米、大麥、小麥、麥粉、高粱、包米、粟及び黍に對し防穀令を施行する旨其筋へ通知ありたるが右穀類にして本令施行期日以前の契約に係り同日迄に搬出し能はざるものは本月十五日迄安東領事館へ屆出づ可しと(安東縣)

◎慶北の蠶業發展

慶尙北道各郡を總括したる桑田反別及び養蠶戶數蠶種掃立枚數產繭石數に於て明治四十一年より大正四年に至る八年間の成績を示せば左の如くなるが尙ほ桑田反別養蠶戶數蠶種掃立枚數產繭額及び田面積に對する桑田面積の步合農家戶數に對する養蠶戶數の步合等を通じて慶尙北道は朝鮮全道に於て第一位にあり(大邱)

年次	反別	戶數	枚數	石數
明治四十一年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
明治四十二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
明治四十三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
明治四十四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

五日夕刊
定價　[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　[illegible]
印刷人　[illegible]
發行所　京城太平通一丁目　合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用 營業用 振替貯金口座 [illegible]

◎金銀鐵鑛發見

大邱府東城町金潤聲は達城郡公山面道鶴洞に約五十萬坪の金銀鐵鑛を發見し既に二月廿六日附を以て採掘の許可を得近く著手するに至る可く一方道路改修竣成と共に人馬の往來頻繁を來し諸道の人民等は之より漸次繁榮を見んとて早くも荷車の價格を問合す者等多く一般に活氣を呈し就中勞働者及び營業者等は非常に欣び居れり

◎仁川輸移出貨物

仁川港最近一箇月間の出入貨物噸數を調査するに輸移出貨物一萬八千三百九十二噸四十輸移入貨物一萬六千三百八十四噸六十六運送貨物一千三百六十噸六十五積戾貨物百八十一噸六十七計三萬六千三百十九噸三十八なり

◎仁川の移出米

仁川穀物協會の調査に依る二月一日より十五日迄の移出米檢查成績を聞くに其總數四萬五千二百十九石にて合格米の中優等米四百四十五石下格四萬七百十九石不合格(輸移出禁止米)五石にして仕向地は大阪二萬七千九百十五石神戶百十五石大連一萬五千九百三十九石龍山百二十石なり

◎入學試驗成績發表

京城中學校に於て一日より執行したる本年度新學期入學試驗の成績は六日午後三時を以て發表さるべしと

平壤

▲平壤貿易好調

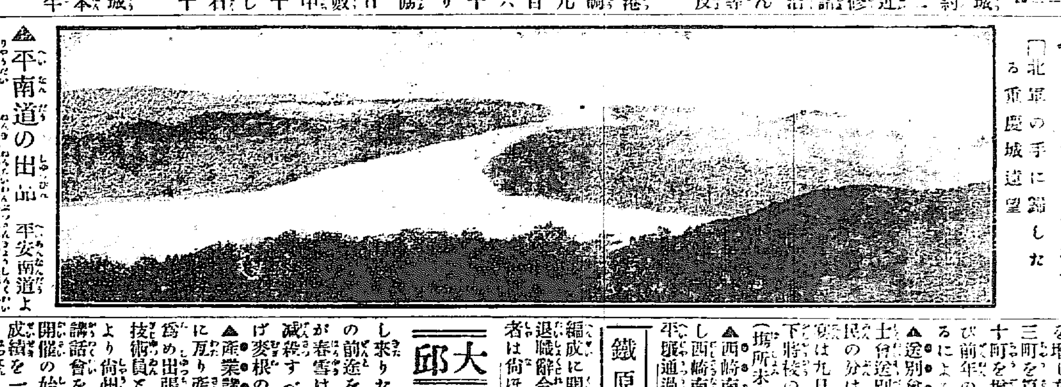
二月中に於ける平壤貿易狀況を聞くに輸移出は四萬二千八百七十四圓輸移入二十一萬五千五百八十一圓にして之れを一月に比すれば出に於て三萬五千七百圓入に於て二萬七千二百圓の增加を示し居れり而して主要品は輸移出牛皮牛骨にして入は金巾シーチング等なり

▲牛骨利用案

主として內地方面に仕向くる平壤地方屠牛の牛骨を平壤に於て利用する爲め十萬圓位の一會社組織の議官民の間にある事は既報の如きが其の利用の目的は肥料としての骨粉製造並に細工品にせんとするものにて道廳の計算によれば前記の如き小會社組織ならば十分收利を得べしと

▲平壤府豫算

平壤府大正五年度豫算は一兩日中に協議員の諮問に附せらるべきが其の豫算に計上せられし道地方費の臨時土木費補助一萬三千圓(昨年度は八千圓)は二月下旬道廳に認可の申請中なる新税特別戶別割にして何れも修正削減の結果收入に缺陷を生ぜん府税增徵及び府債の新起共に困難なる今日とて止むなく臨時土木事業に於て多少緩延の方法を講ずる外なからんと云ふ



□北軍の手に歸した重慶城遠望

▲平南道の出品

平安南道よりは臺灣二十年記念臺灣物產共進會には順川產大豆(京城共進會に金牌を受領せり)を參考品として出品せる由

▲電動力と需要

平壤に於ける目下電氣動力の需要數は約八戶二十馬力に過ぎず主として精米業者を得意とし夜間のみ配電し居れるが電氣會社にては需要申込百馬力に達すれば晝間の送電を行ふべしと唯目下平壤の狀勢は一工業會社にても起らざる限り電動力需要の激增は望み難し

▲自作及び小作農

平安南道に於ける自作農及び小作農の耕地面積に就て道廳の調査を聞くに畓に於て自作農は一萬六千五百町小作は三萬二千四百町なれば小作は自作の約二倍なるも田は自作十二萬九千町小作十三萬五千九百町にて自作小作の面積殆んで拮抗し居れり

▲各組合豫算

大正五年度平南管內各學校組合豫算にして四日迄に議了せるは平壤中和の二組合に過ぎず自餘の十數組合は目下切りに會議中なり

▲平南耕地面積

平安南道に於ける耕地面積に就き道廳の調査を聞くに一毛作の面積は四萬八千九百十町にして前年より千二百八十町を增し亦田は二十六萬五千四百七十三町を算し前年より一萬一千四百八十町を增加せりこれ荒蕪地の開墾及び前年の調査に多少不備の點ありたるによると

▲送別會相亞ぐ

辻岡本兩判事の送別會は四日大同館に亦一般官民の分は七日同館に細野警視の送別會は九日同館に而して伊藤旅團長以下將校の內地歸還送別會は二十一日(場所未定)開會する由

▲西崎南浦會頭

內地に歸省中なりし西崎南浦商議會頭は四日夫人同伴平壤通過歸南せり

鐵原

鐵原學校組合管理者林雄輔氏は大正五年度豫算編成に關し曩に辭表提出中の處此程退職辭令に接したり因みに後任管理者は尙ほ未定なり

大邱

▲春雪と民心

大邱附近に於ける客月二十七日以來の降雪後寒氣遽に逆襲し來りたるため一般農民は稍や麥作の前途を憂慮し居れる向尠からざるが春雪は麥作の害虫に對しては之を減殺すべきも目下の烈寒は動もすれば麥根の枯死する虞れありと

▲產業講話會開催

過般來慶北各郡に亙り產業觀察及び產業事務調査の爲め出張中の三井總督府技師は本道技術員と共に來る三月三日午前十時より尙州公立普通學校內に於て產業講話會を開きたるが其の趣旨は昨秋開催の始政五年朝鮮物產共進會の成績を一般當業者に指示し以て產業の發展を期する爲めなりと

▲民籍研究會組織

今回慶尙北道にては面民籍事務擔任者を以て民籍事務研究會を組織し民籍に關する法規並に習慣等の研究を爲すは執務上稗益する所尠からずとて規約準則に據り近く研究會を組織すべしと

▲民籍事務視察

總督府司法部法務課主任立石種一氏は慶北道廳吉田事務官と共に民籍事務視察の爲め十一日より慶州安東尙州地方に出張の豫定なりと

▲事務官出張延期

既報の如く慶北道廳吉田事務官は三月五日より出張の筈なりしも兵營敷地買收事務に金泉尙州醴泉義城地方へ出張す

▲奧山二等主計來邱

朝鮮憲兵隊警務本部會計監督部員陸軍中佐相當官奧山二等主計は四日午後四時著邱唯屋旅館に泊五日會計檢查を了へ馬山に向ひたり

▲三判事の送別會

大邱地方法院後田賢介氏平山勸次氏山內公允氏の三判事は今回各地に轉任の筈にて七日大和に於て裁判所部內の送別會を催す由なるが豫て懇意の人は參加するも差支無しと

▲樋口道書記出張

道廳書記樋口[illegible]氏は四日より向ふ八日間の豫定にて[illegible]

□船中より　孤村生

北鮮に視察に行つたと云へば、大變聞えもよい樣なれども、其實弱り目に、崇り目、泣面に蜂の憂目に遭ひ、命からがら這々の體にて、只今日本郵船の立神丸に乘船せり、扉定まつて考ふれば何の爲に來たやら、分らぬ程に取紛れた頭に一切を呉れて、調査材料の整理に取かゝる、海上の平穩を幸ひ今夜は徹宵七八回分の原稿を書かなくてはならぬと萬年筆に墨汁を注入する、三四回分も書いたと思ふ頃、食堂開始の銅鑼鳴り船長以下各高級船員と共に、晚餐の卓を圍んで談論風發、有望なる將來の淸津港、北鮮航路の前途に就て甲問ひ乙答へ、盡くる所を知らず、偶々船長の曰く淸津港の各汽船會社代理店は、每航汽船の出帆時間に間に合せたることなし、其理由とする所は半時間にても殊更ら引延し一人にても多くの客を取り切符賣上の步合を得んとするためにて、其結果荷客共に遲延を來し、元山等の汽車便に遲るゝこと一再ならず、新開港にして早くも斯の如き弊害あるは將來ある淸津のため惜しむべしと云ふ又以て頂門の一針なりとせずや。食後又もや船室に入り原稿にペンを走らせ居る折柄、二十有餘年船給仕を勤むると云ふ、胡麻鹽頭の老給仕這入り來り、世界見物の大風呂敷にて記者を烟に卷くこと切りなり、又徒然の慰として排す可からず。明二十七日元山著直ちに京城に向ふ(二十六日)

▲矢野軍醫監通過　矢野軍醫監は去る二日馬山に向ひ四日午後一時二十三分北行列車にて大邱通過歸京の途に上る

▲齋藤二等獸醫出張　慶北大邱憲兵隊陸軍二等獸醫齋藤[illegible]一氏は三月五日より二泊の豫定にて[illegible]

木浦

▲農事講習會

大猪農會社の發起に係る農事講習會は廿九日より木浦公會堂に開催連日三十餘名の聽講者あり向阪綾田三原の三技師何れも專門の事項に付き實例を引きて懇切なる講話を爲したる處豫想以上の好成績を以て二日を以て閉會したり

▲繰綿工場近況

當地繰綿工場其後の進況を聞くに木浦棉業は愈々來る五六日頃天棉業は八九日頃一切の作業を終り閉鎖すべく朝鮮棉業は諸種の關係上本月末迄繼續すべしと

▲水產講習會終る

水產技術員講習會は去る二十日より當水產組合支部に於て總督府技手松尾捧尾の兩氏を講師として引續き開催中なりしが良成績を以て廿七日閉會したり

▲農銀普通貸付

光州農工銀行當地支店に於ては農工資金以外普通の貸付をもなすべく豫て申請中の處今回總督府より許可せられたり

▲小賀野技手出張　慶尙北道勸業係小賀野技手は四日地方農事視察の爲め漆谷郡に出張せり

▲小學校長辭職　慶北漆谷郡[illegible]校山口氏は二月二十九日附を以て辭職を提出せしが尙ほ山口氏は[illegible]に於ける鮮人私立中學校長に招聘せらるべしと

馬山だより

おひ〳〵春めき來りて馬山川の櫻[illegible]

香南雪北

▲朝鮮の牛皮は既により重要輸移出品として名あるも牛骨亦棄つ可らず往年は牛骨專門の商人ありて盛に買收に努め居たりしも近來餘り不聞而も牛骨の肥料材料として又た其他に有用なる世人の知悉する處なり

▲斯る有用品の徒に等閑視されあるの感あるは可惜現在安價移出は遺憾

▲平壤にては當局調査をなし有利事業として牛骨會社設立の說あり宜哉

▲本年全道養蠶豫想收繭四千石內譯平南一石二斗慶南八斗平北七斗八升咸南六斗全南四斗一升にして成績良好と云ふ可らず前途大に努力せよ

▲全州素封家朴基順氏は名所德津池の南側乾止山一部に公園設定を設計し許可の曉は能ふ限り設備を施すべしと全州住民の爲には一樂天地增加

▲慶州地方は先月廿八日朝より降雪積雪六七寸農民は豐作の爲に大喜び

▲大邱禪學會の連中は近時同地方に會員增加と共に道場設立の計畫あり

▲而して更に一層の發達を計り一番武術道場に精神的對抗を試むと慥

廣告　御披露　[illegible]

御(特許防水衣)紳士觀　雨衣防水衣は布帛の色、艶、美觀を損せず裏布帛側にゴムを兼用し防水力完全ゴム布を貼り防水力完全　見本及定價表無料進呈　京都府上京區　星川發明部

生徒募集　本校本科技藝科併設普通學校各學年補缺生徒ヲ募集ス　町法人 淑明女子高等普通學校

東京興農園　農家便覽　東京市京橋區　本店　市外分店

到處酒醬油店に有　開業二百七十二年　ヤマサ醬油

適齡者の爲に　檢查用寫眞に限り半額撮影仕候　但し此の劵御持參の各位に限る　京城本町二丁目電話三二〇番　本町寫眞館

約百圓の資本にて一箇月に五百圓　純益出來る活動寫眞興行が手輕に　委細說明書にあり郵劵二錢送れ　東京淺草八幡町八振替東京一六六八　大澤商會

店員採用　年齡滿貳拾歲以上にて銃砲火藥業に經驗ある者至急入用希望者は履歷書を添へ申出でられたし　仁川山手町二丁目(電話四九百番)　三共社

竹敷要塞に忍入る 飴賣の朝鮮人—直ちに逮捕さる

慶尙南道近岸新洞生れ當時對州雞知村朝鮮飴賣金推(二二)及び同李奭榮(二)外一名は二月二十四日午後十時頃對島竹敷晝ケ浦大平砲臺構內に忍入り倉庫の錠前を捻じ切り眞鍮製重砲附屬品八個目方七百九十斤代價三百五十圓を窃取し贓品は嚴原町古物商二名の手を經て福岡上辻堂町山本商店に賣却せる事發覺し犯人は直ちに逮捕せられ贓品は既に地金に鑄潰したりとの事にて目下嚴重に取調中なり（釜山發電）

臺灣の春を賑ふ共進會 朝鮮よりも出品=協賛會の奮發

臺灣が帝國の版圖に入つて茲に二十年、此間諸般の施設經營漸く完備し産業文物の改善進歩の上に著しき成績を擧げたので臺灣總督府では▲來る四月十日より一箇月に亙り臺灣勸業共進會を臺北に開催し普く臺灣全島の物産を蒐集陳列して同地の産業狀態を中外に紹介すると同時に帝國各地の産業狀態を臺灣島民に觀覽させ又臺灣地理上の位置並に歷史上の關係等に鑑み南支那及び南洋各地の産物を網羅し以て我同胞の南方發展に貢獻すべく目下盛に準備中である今本會計畫の大要を記さんに會場は工事中の總督府新築廳舍を以て第一會場とし總督府林業試驗場臺北苗圃を以て第二會場に充て共に其規模は宏壯を極めたものである第一會場は▲臺北市街の中心に位せる巍然たる五層樓で總延坪一萬二百三十七坪の面積を有し其樓上に屹立する百八十尺の高塔は臺北平原十里の光景を一眸の裡に收め頗る壯觀である陳列場は一階より四階までを以て之に當て第一、二階には本島生産品の全部を、第三階には內地各府縣及び植民地よりの出品を、第四階には島內各官廳よりの參考品を陳列し教育、學術、衛生、美術、工藝から農業、林産、水産、鑛産及び各種飲食品等に至るまで千種萬態燦然目を奪ふであらう、又第二會場は臺北南新街にあつて第一會場を距る事約六町面積五萬三千三百八十七坪あり其境內には▲各種の熱帶植物を植ゑ泉石の雅趣を極むる間に支那及南洋館、蕃族館、園藝館、蔬菜館、家畜舍等を設置し殊に朝鮮支那及び南洋館には支那各地を首め香港、英領印度、佛領印度、支那、暹羅、比律賓、濠洲、南洋新占領地等に於ける生産品通商品等を網羅し殊に南洋各地の實景を描寫せる壁畫の如きは最も觀客の目を悦くに足る尙又協賛會は場內に賣店飲食店及び各種餘興物を設置し晝夜間斷なく開催する事とし總督府鐵道部は開期中鐵道院並に各汽船會社と協定して團體及び個人の往復船車賃金の大割引を爲さしめ旅館料理店なども特別の便宜を圖るとの事だから開會の曉には恐らく臺灣未曾有の盛況を呈する事であらう

東京大相撲 滿鮮巡業

東京大相撲の地方巡業組は一昨年常陸、梅ノ谷一行が渡鮮せし以來昨年は巡業を見合せたりしが本年は五月場所打揚後直ちに鮮滿巡業の途に上るべく內定したるが本年は多分六月上旬若しくは中旬頃來鮮するに至るべし

東西合併相撲の前景氣

五年振りの東西合併角力も期日が切迫するに伴つて前景氣が旺んになつて來る、千日前裏の小屋掛けは東西二十三間南北三十間の約七百坪の面積で之に東西五段南北▲七段に大棧敷を組み其の前に五間四方の平場を設けるさうで三日から其の準備に取かゝつた、また日向尾張方面へ地方巡業中であつた加古川松の音組に穂鶴山、小若島の二組も兩三日の中に歸阪する筈である大阪相撲協會では難波の土俵場で三日から各部屋合同の大稽古をはじめた、何にしろ久振の合併大相撲と云ふので其の前景氣は頗る盛な上に▲稽古頗る猛烈なもので本場所でも見ることの出來ない壯觀である大阪相撲も平生から之れ位ゐ緊張して稽古を勵んだら餘り馬鹿にも出來ないだらうと好角家は稽古場に集つて盛んに氣焰を吐く、それからまた之等好角家の仲間で噂してゐるのは東方力士の取組の豫想がまた頗る面白い大阪方で主なものは東で大錦、小染川、千舟川、西の森、二瀬川、西では加古川、松の音、荒岩、朝日松などが先づ問題で其の中でも殊更に大問題となつてゐるのは例の大阪の大錦である、成る程大錦に取ては▲横綱候補戰とも云ふべき大事の場所で東軍の横綱五人の中誰を倒すかゞ大問題となつてゐる、大錦贔負の好角家は『横綱では西の海大關では大錦とならば五分には角力る、西に對して立ち上りに注意して四つに組めば西の腰に弱點があるだけ錦の勝味が多い』と、東京の大錦と小染川もまた好取組と噂されてゐる併し小染は左胸部に腫物が出來て切開手術を施しずつと稽古を休んでゐるので小染贔負は頻りに氣を揉んで居るが小染自身はあのやうに▲負けぬ氣の男だから出場するに違ひなからうが本人は一向よ……は東京の大關ですからね』と頗る謙遜してゐるところが可愛いとの評判である又前年の合併相撲に大阪の對象物にされたのは鳳であつたが、今度は新大關の大錦(東京方)で東京の新横綱西の海を倒すと二百兩、東京の大錦を倒すと百兩といふ奬勵金が親方と力士との間に取り交されてゐる、こんな次第で大阪の稽古の鋭さつたら宛ら火の出るやうに猛烈さである(大阪支局)

復讐の慘殺 兄と夫の仇

平安北道朔州居住朝鮮人が殘酷なる復讐を遂つた今其詳細を聞くに朔州郡南山面德上洞に亭主持の金氏(二三)と云ふ女がある此女は近郷に有名な淫婦で殆ど色情狂的な女であるが今より八年前の夏のこと同洞居住の李之擧なる者と姦通して不義の快樂に耽つて居る中他迄多情な金氏は又も同年の冬近所の朱奉碩なる者と通じた揚句姦夫姦夫の鞘當となり遂に氏は朱奉碩と共謀して翌年二月十三日の夜李之擧を附近の飲食店に誘ひ出し多量の酒を强いて泥醉せしめ其歸途を待受けて撲殺して了つた然るに被害者たる李之擧の實父李尙瓛(七二)實弟之善(四一)之獸(四一)之彦(三一)其妻の朴氏以上五名の家族は翌日慘死したる之擧の屍體を引取りたるまゝ加害者の何者たるかを知る能はずして打過ぎ居る中昨年の冬偶然の機會其死因を確かめ得たるより五名の遺族等は烈しき復讐心を起し或日之善と之獸が野道を行く途中仇の朱奉碩に出會したるより之れを引捕へて縛し急を居宅に告げ同日の夕刻遺族等總掛りで毆つたり蹴つたりした後先づ亡李之擧の妻朴氏が携へたる鎌を奉碩の腹部に突込み他の連中は各自手頃の石にて其頭部を味噌の如く打ち碎きて慘殺し犯人等は直ちに檢擧せられ新義州檢事分局にて審理一同殺人罪として起訴せられ來る十六日公判開廷の筈(安東縣通信)

強盜捕縛さる 銃を携へた二人組

全北南原郡豆洞面細田里生れ孔在三(二九)は同郡周生面貞忠里生れ張京玄(三一)と共謀し去る大正四年六月六日夜庖丁及び銃を携へ任實郡雲岩面基洞里居住洪淳汽方に闖入し洪を始め家人を荒繩にて縛り柱に繫ぎ携へたる庖丁及び銃を示して金品を提供せざれば鏖殺しにすると威嚇したる上現金百四十二圓並に洪が同里居住佐々木長次郎より預かり居たる銃獵用の銃一挺(價格五圓)及び彈藥其他附屬品一式を强奪し同家を立出で更に同月十二日夜銃を携へ同郡朱川面高村里李鐘方に押入り前同樣の手段にて家人を脅嚇し現金百三十六圓及び物品數種を强奪し同月中旬慶尙南道咸陽郡面不詳金先達方に押し入り現金八圓餘を又た同八月一日夜南原郡巳梅面官村里李敏恒方に押し入り現金五十六圓を强奪したること發覺逮捕せらる

船中で擊殺 屍體を川底に沈む

平安南道中和郡海鴨面孫浦里船乘業金漢俊(六七)は舟子黃州郡兼二浦尹孝植(二三)なる者と共に昨年十二月十九日夜黃州郡青龍面新津渡船場附近に碇泊中碇綱切斷し河中に墜落溺死を遂げたりとて屍體は行衛不明となり居たるが此程に至り中和署の中村巡査は溺死者は六十圓餘りの現金を所持し居たる筈なりと云ふ事を聞知し他殺の疑ありとし乘合の船夫尹孝植に嫌疑をかけ自宅に於て之を取押へ嚴重取調の結果包むに由なく全く溺死にあらずして加害者は自分なりし事を自狀したる由なるが同夜濟後船室に眠れるを見て舳部にありた綱付の石を胸部に投げ付け一回にて絶息せしを尙ほも綱を手繰り上げて打ち付け室內一面鮮血に染めなし死體は河中に投げ込み血潮は洗ひ流して溺死と見せかけ居たるものなりと

女房が居なければ家も要らぬ

夫婦喧嘩から我家に放火 二日午後六時頃平南平原郡肅川面晚興里元俊常(三九)は酩酊して歸宅せしに其の妻が飯の代りに粥を炊きゐたりとて夫婦喧嘩を初め妻が腹立ちの余り出て行きしより俊常は獨り住居ならば這麼家は不要なりと温突の焚火を取出して家の一端に火をつけ其の屋根に焚き付けんとする所を近所の者駈せ付け取り押へ俊常は其筋に拘引せらる

夫を嫌つて放火

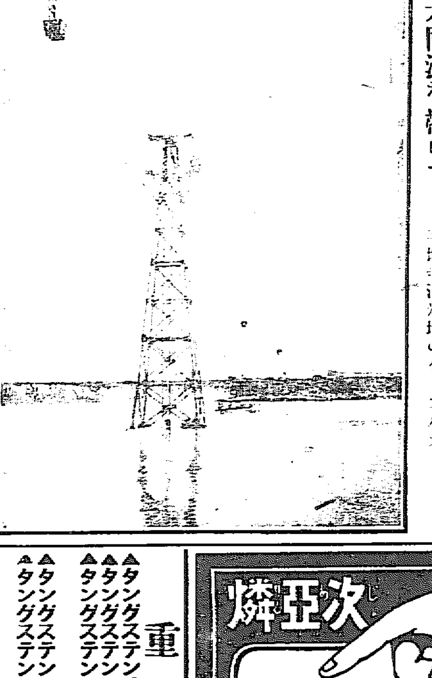
忠北陰城郡邑內里嚴承五(三三)の妻李氏(三一)は夫を嫌ひ離別せんと決心し二月二十三日午前四時頃夫の居宅內にありたる乾草に放火し直ちに素知らぬ顏にて附近の實家に歸り臥床したるが其の爲め承五の居宅は遂に全燒するに至りたるものにて所轄陰城署にては直ちに犯人として李氏に目星をつけ同女の寢込みを逮捕したるに正しく犯人なること判明したり

腕の力 炭坑の中から

三、屏風の落書 迷信に滿た坑內 口笛と山之神の心

寺洞炭坑初見の客が二三日或る所員の家に滯在した事があつたが飄俠者と見えて主人の秘藏の金屏風に『起きて見つ寢て見つ鮮人工夫の黑さかな』と惡筆淋漓とぬたくつて窃と立ち歸つた。後で此れを見た主人公は大いに怒り乍らも噴飯したと言ふ話は有名な者であるが

鮮人鑛夫の黑さ 加減は恰も石炭の化性の樣に傳へ聞くアフリカの黑奴さへも三舍を避けねばなるまい手足と言はず顏は勿論衣服まで黑光りがして只白いは齒のみであらう若し其れニタ／＼笑つた場合の如きは眞黑い顏の中から眞紅な唇と皓々たる齒と白眼とが露はれて魔性の如く薄氣味惡い程である彼等は



大同江を横りて—寺洞炭坑のケーブルカー

家庭に於て起居 する場合も仕事著の儘である朝起きても坑內に入れば元の通り黑くなるからと言つて顏を洗はない富士が千古溶らぬ白雪を頂くと共に彼等は去年の垢を持ち越して居る、只夏丈は暑いが爲めに大同江に飛び込んでジヤブ／＼と身體を洗ふが之れが爲めさらぬだに深碧の大同江水は黑い流れと化する相である

彼等には半農者 が多くて農閑時期を利用して鑛夫をなす者は其大半を占めて居るが勞銀が宜い爲め農業を捨てゝ全く鑛夫としての生活を營む者が年々增加する勞銀は平均四十二三錢に達して請負工は日給の倍以上の收入を得るから鮮人としては裕福に暮す事が出來る

鑛夫の御幣を擔ぐ 事は頗る甚だしい坑內にも『サル』と言ふ事口笛を吹く事頰被りをする事坑內を穴と呼ぶ事等は最も忌れて居る『サル』は世間一般であるが口笛は山の神樣が微妙な口笛の音を聞くと怳惚として氣を弛める爲め山が崩れると言つて忌み、頰被りをすると天井の崩れる事が感知されないし又人の**變死した場合は**顏を匿すから不吉だと謂ひ、穴とは死人を埋める場所であると云つて嫌つて居る某金山で新米の雜役夫が坑內をあなと言つた爲め其れを聞いた鑛夫が百尺餘もある斷崖からつき落したが其れが原因で人夫の飯場頭と鑛夫の飯場頭の喧嘩となり遂ひには雙方六十餘名の

鑛夫と人夫が入 り亂れてダイナマイトやハンマーやタガネなどを投げ合つて死人の山を築いた事があつた相である如何に彼等が頑迷に迷信したり御幣を擔いだりするかゞ窺はれるのである

給帶 春先の仕立物

呉服店の片側帶の陳列を見て新調を思ひ立つたり又は縫直し物に長くなつた春の日を

▽針に親しむ 御婦人方の爲に帶仕立方の注意を申しますならば帶は引合が一番大事でそれも品によつて樣々ですがめりんすとめりんすを合せるならば引合は平かにしてそれを縫ふには

▽返し針縫を しないで唯細かに縫つて行きます總べて地薄の品は返し針縫をすると縮れて宜くありません、背の折れるのは縮緬と固い繻子の合せで先づ耳が釣つてゐるのを火熨斗で直し兩方ともよく

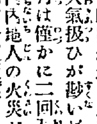
▽地延しをして 引合を取りますそれには固い方(繻子)を下に置いて柔かな方(縮緬)を上に重ね心持ち縮緬を引き加減に揃へて針を眞中に打ち次に一尺置き位に留針を打つて細に縫つて行くのです

▽博多と縮緬 の場合も亦此に同じ事ですが羽二重と羽二重との場合は其の儘縫ふと縫目が縮れますから日本紙を四分位の幅に長く切つて繼ぎ合せ是を縫目に當て細に縫ひます次にしんは護謨しんを使ふ人がありますが工合の好いのはどうしても

▽三河木綿で 是を一尺に付いて一分位のゆるみ加減にし唯兩端一尺四五寸の間だけは平かにして縫ひ附けます帶幅は普通八寸としたものですが好い帶の場合には八寸五分位にして置いた方が後で縫直しが利きます猶しんに入る眞綿は成可く

▽薄くしたが 宜しい愈々出來上りましたら飾り縢を横側は六七分の針目にぶつく／＼と表裏なく縫ひ堅は同じ針目で縫つたのに返し針をして一直線と致します最後に仕上げの綴ぢは紅白の絹糸を二筋にして六つに折り

▽疊んだ帶の 横側に左から二寸五分右からも二寸五分の處とその又眞中との都合三箇所縫は眞中に一箇所何れも綴ぢをして三分程に絲を切り次に綴ぢと綴ぢとの間を斜に綴をくとらせて變形にかゝると體裁がよくなります



▲昨年中京城で火事が百五十六回あつた。二月の四十一回、一月の二十四回が最も多い月で▲夏になると火氣扱ひが尠いだけに七八九の三箇月は僅かに二回乃至四回である其の內內地人の火災が四十五回で百十一回は朝鮮人側である▲尤も鮮人側に度數の多いのは居住人口上の割合から見ても當然の現象であらうしかし百數十回の出火に對して全燒した戶數は僅かに三十戶であるより見れば消防の働き振りも察せられる▲火災の爲め烏有に歸した損害總額は十一萬七千四百六十七圓となつてゐる、其原因を見ると温突から出火したといふものが五十六回で是が最も多い▲其他煙草の吸殼といふ順序になつてゐる又洋燈、煖爐、弄火、取灰、燐寸及び石油提灯及び蠟燭、漏電、風呂場、放火などもある▲斯くて昨年度の火災に依つて燒棄てた平均一回の損害額が七百三十五圓宛となつてゐる

看守の收賄 發覺公判に附せらる

元全州……かに所持せる▲鉛筆を貸し與へ政一は之れにて所持の塵紙に密書を認め、尙旨相德に頼み同人は快く之れを承諾し其の夜前記津久井氏宅を訪問したるも生憎津久井氏が不在なりしより更に十六日夜再び同氏を訪ひ件の……りしが其の場に政一の內縁の妻堀內ふさえが來合はせ居たるよりふさえより紙包にせる金▲五圓を收賄し更に同月二……

……來同人は大正三年二月頃巡査補を奉職し任實警察署任實駐在所に勤務中同月下旬頃當時放火被告人として任實署に留置取調べ中なりし同郡江……▲吳姓女を欺き三十圓を收賄し署長金警部の推問を受けたるより自己の不正を隱蔽するため反對に吳姓女を誣賄罪として告發し同人を……

◉飲食店で死亡 京城北米倉町四十一番地飲食店李春逝方に住所氏名不詳年齡三十五六位の鮮人男一名三日夜死亡し居るを發見せしに付引……

天氣 くも ▲三月六日 曇一時晴れ

謹啓支部長杉井彥太郎二月二十二日付を以て轉任を命ぜられ其後任として主事鹽野谷平藏任命相成候に付不相變御引立の程奉願候 敬具
京城長谷川町九十一番地
帝國公債信託株式會社朝鮮支部
電話二五三四番振替口座京城二〇一七番
（外勤社員募集）

次亞燐
冬は血と肉が衰へるゼ今日から召せ
のむに從ひ血をふやし肥つて強壯
●賣藥は各藥店にあり

重石高價購買
▲タングステン鑛石百分の拾より七十三迄含有の品高價現金買仕候
▲タングステン鑛山業者にして責任ある方へは代金前渡し可仕候
▲タングステン鑛山所有者へは採礦御引渡の御契約にて諸工具及び人夫賃金等の立替の御相談に可應候
▲タングステン鑛石御拂渡の契約にて鑛山機械備付け御相談に可應候
▲タングステンに就き御用の方は鑛石小塊見本御送付の上御相談被下度候
京城貞洞二十五番地（電話二九三八番）
ジョージアーレン商會
（支店所在地 忠淸北道淸州）

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

內科 小兒科
京城本町二丁目（瓦斯會社向側）
芙蓉醫院 醫學士 森定吉 電話二六二三番

拜啓小生義今般東京醫科大學附屬醫院を辭し爾今左記に住居致候間此段謹告仕候也
三月一日 本町二丁目 醫學士 森定吉
郷友諸君

醫化學諸器械一式
Ⓚ 仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店支店 電話七六一番

藥種賣藥卸商

京城電氣株式會社製品 特約販賣 コールター 巴商行
龍山漢江通八番地 樋口米太郎 電話四二四番
鑛鎔其他鑄造製作 久保田鐵工所代理 同 工場
電氣用品工事設計請負 同 支店 京城黃金町三丁目三四〇番 電話一四二五番
石財販賣（當方持山） 中村製作所代理

●日本職工露西亞へ傭聘

東京小石川區久堅町岩上辰治(三〇)同區原町工藤富治(三七)の兩名は今回露國オデッサの飛行機製作場ア・ア・アナトラ工場に飛行機組立工として採用され

▲月百二十五留（日下百留）を給せらるゝ事となり二十五日夜八時東京驛發二十六日敦賀より鳳山丸にて浦鹽オデッサに向へり、同工場は私立飛行機製作場にて一千餘名の職工あり歐洲大亂勃發當時より露國政府の命を受け陸に

▲飛行機六百臺 餘を製造し政府に納めたりと云ふ大工場なるが工場にては發動機製造をなさず部分的機械のみを製造し外國より購入したる發動機を取付け居り去月二十日同社代表者シワイル、ダウドウィッチ、エリチッツ氏飛行機材料

▲購入の爲來朝 し藤田商會にて取引の際同商會技師原工學士に日本人は手先きが器用なれば定めしよい職工があるならん是非二三名つて歸るやうにと社長の命なりしと言ふて其の斡旋方を依頼しその結果右二名を選拔したるものにして四年間の契約を結びたり右兩名の技倆は

▲東京砲兵工廠 精器課電氣部に年來勤務し工藤は小石川區原町の和田計器製造所の仕上工にて何れも技能優秀なりと（東京通信）

●桃枝で打つ祈禱

平北泰川郡西面大興洞自容適(三七)及び同郡長林面泰興洞邊龍器(三三)の兩名は一月二十五日より二月三日頃の間に平北龜城郡東山面龍豐洞、興覽方に於て東山面龍豐洞の金伸甫(三七)が不眠症に罹り居るを祈禱して治癒せしめ與れよと仲甫の父興覽より依賴を受けたるより兩名は同人の身體各部五十四箇所に鍼術をなし背部四箇所に灸治も据り居る死靈を除くなどと稱し被害者の四肢を縛し桃の枝を以て毆打し祈禱をなすこと約十日間繼續したる爲め漸次危險狀態に陷るや愴惶として祈禱料八圓を受領して兩名は歸宅したるものにて仲甫は遂に死亡するに至りたるものなるが所轄城憲兵分遣所に於て此事を探知し兩名を檢擧せられたり

●紡績女工の赤誠

大阪市北區下福島二丁目尼ケ崎紡績株式會社福島工場にては一日午後六時より女工寄宿舍二階大廣間に於て女工慰安會を催し寄宿女工約三千二百名と通勤女工三百餘名とを一堂に集め各種の餘興ありたる後人事係主任内山憲政氏は明治天皇の御事蹟の大略を極く通俗的に講話し最後に明治神宮

●叱られて自殺を企つ

京城府洞車夫成萬甲(二〇)は酩酊の癖あるものなるが常に酒父より訓戒を受け居る有樣にて三月三日も嚴しく叱責せられたるより同日午前十時半頃同洞十木商方にて少量の苛性曹達を服用し苦悶中を家人に發見せられ急報に依り鍾路署より官醫出張應急手當を施へたる爲め生命に異狀なく家人に引取らしめたり

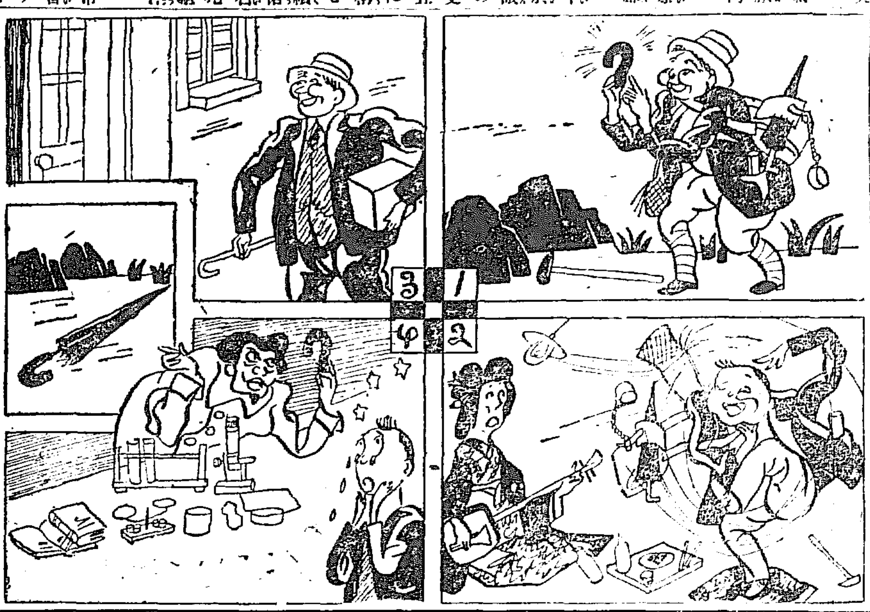
……建設に關し其筋より奉贊會に對し金三十萬圓を下賜されたりと傳ふるや女工等は吾もくと五錢十錢の寄附を申出で總額約五百圓に達せしより近日府知事の手を經て奉贊會に寄附する筈なりと（大阪支局）

ジヤムパン、クリームパン、アンパン、早く買ませ賣り切れの間に　京城助治町木村屋電話二八七〇番

◎一等當籤者 [illegible]

日曜漫畫　飛田源助先生の事　――めちや吉畫

(1)近頃流行のダングステン熱にやられた源助先生、毎日々々山を歩いて居たが圖らず不思議なものを發見した、黑くつて何處やらに底光りのするものは確かに何物かを含有して居るんだらうと大恐悦至極、(2)掘り當てたくと祕ひに一杯で、人車に出ると女を相手に底抜けの大浮れ、



(3)都に歸つて早速と鑛物試驗所へもつて行つたら驚くだらうと思つて居ると、

(4)いろくく試驗の結果、セルロイドの蝙蝠傘の柄で、犬か何かど山の中へもつて行つたものだらうと判つて、大笑ひ源助先生は一週間腰がたゝなかつた、

家庭

◉保險の出張所開設 [illegible]

▲浪花館 [illegible]　▲御成座 [illegible]　▲壽館 [illegible]

台所 その日

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三 [illegible]

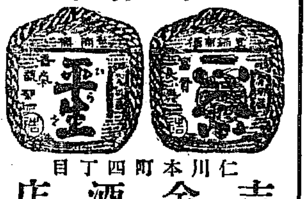
壽町 壽館 電一〇五〇 [illegible]

黄金町四丁目 黄金館 電話二六三七 [illegible]

明治町 浪花館 電話二六〇番 合同大一座 ○演題（重なるもの）[illegible]

御成町 御成座 電話一一九一 江戸ッ子會一行 ◉六日目藝題 落語、落語音曲、掛合二輪加、新内浮世節、新派喜劇親のじつ、新内花井お梅、大川ばたの段、桝をどり、新派喜劇 都踊り ▲十錢均一

クスリはホシ　胃腸藥　此外適藥四十餘種各地藥店にあり　定價十錢廿錢五十錢一圓



醇良清酒　仁川本町四丁目　吉金酒店　電話七六四番

龍角散

たんをきりせきをしづめ　ぜんそくに特効あり

今です！ たんとせきとぜんそくの流行期は凡ての人が注意すべき氣候激變の時期です。今です！ この時期には極めて頑强な人でも氣管を……

主治効能　△たんにて常にゴホンゴホンと悩む人　△ぜんそくにてゼイゼイ咳き切する人　△せき頻に出で夜半オチオチ眠れ兼ぬ人　△流行感冒より起るたんせきの人　△肺病にて常に力なきせきの出る人　△たん臭氣を帶び時々血の交る人　△小兒百日せき又はしかせきの人　△喉聲のかすれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきに頗る卓効あり又常に音聲を使用する人に用ゆれば咽喉を滑かにし音聲のつかれを補ふ事奇妙なり

定價 二十錢、四十錢、一圓　郵税 [illegible]

取次 全國各藥店にあり▲賣切の節は本舗へ御注文を乞ふ

本舗製劑 東京神田區豐島町 藤井得三郎　電話浪花一四二四　振替口座東京九一

第廿一回新學期開始　最新　英語講義錄

創立以來十年の久しき經驗により英語通信教授として進歩の極致に達す

大正の今日英語を解せざるは非成功の極なり今日只今より

英語を學べ　勉學の好期は來れり諸君は此際必ず世界新智識の供給者たる英語を學べ、新智識に缺ける盲目的活動は全然失敗なり有らゆる階級を通じての常勝軍は新智識の準備に鋭意なるものにして新智識の吸收は世界の通用語たる英語を學んで初めて得らる英語の素養だに有らば如何なる方面に於ても偉大なる活動者たるを得べきなり。英語を學べ！！ 英語を學べ英語を！！

大日本國民英語學會　東京麹町區富士見町六丁目　電話番町三四七〇

詳細内容見本附　會則進呈（端書にて申込あれ）

■會則御申込みの節は本紙によるよ旨御書き添へ下さい、本紙發行所■

實業講習錄

見本無代進呈　總裁 大隈伯　副總裁 澁澤男

顧問 文部大臣 高田早苗　前農商務大臣 山本達雄　法學博士 新渡戸稻造　院長 鎌田榮吉

科目 實業上に必要なる中等科目を悉く教授す

會費 一ケ月五十錢六ケ月二圓八十錢

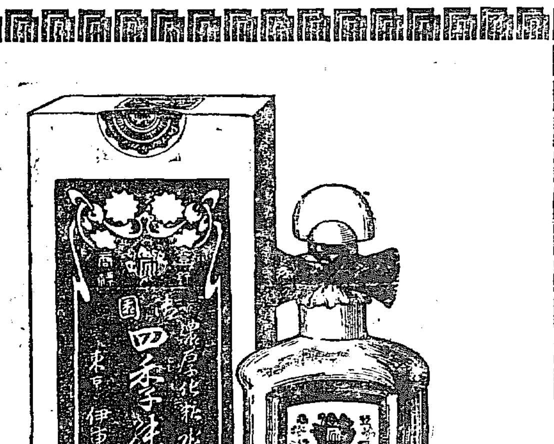
壹ケ年卒業

顧問 商業會議所會頭 中野武營　日本郵船社長 近藤廉平　前三菱管事 男爵 豐川良平　森村市左衛門

贊助員 男爵 大倉喜八郎　前大藏大臣 阪谷芳郎　日本銀行總裁 三島彌太郎　安田家總理 安田善次郎

講義 當世一流の講師親切平易に說明す　小學卒業生は是非本講義錄を見よ

實業之日本社　東京市京橋區南紺屋町二十　帝國實業講習會　電話京橋七四六　振替東京四二〇六



御園四季の花

白粉を美しく附けるには、常に土臺の地肌を整へて置く事が必要です、化粧水御園四季の花は此點に別段の効能があります、即ち洗面後入浴後に用ひて、皮膚を柔軟に肌理を整へ、色艶を麗しく、肌荒れ一切を防ぐに無類の化粧料です

（定價 金二十錢 金五十錢）

本舗 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

(83)

越後大評定

第百五十席 早川貞水口演

闘根彌次郎の出現

其内に日は西山に沒しまするると、最早の賑ひに引換へて隅田の堤も夜は淋しく致しましたが、罷り常陸屋の二階には、大野次郎兵衛の一座で、酒宴を催おして居りますから、闘根彌次郎は樣子を窺ひ、垣際の小さき垣根の蔭に潜んで息を殺して彼等の出るのを待つて居ると、常陸屋の女中が、女客様御出立で御座います一云ふと、頭は駄の中で、飛つた者で酒を飲んで居りましたが、且那の御出發と聞いて、狼狽て金盥や酒の道具を取片附ける、大野次郎兵衛下役と共に出て來り、次、ヱー常陸屋の案内、是まで

り吉原へ參り、明朝早く歸つて、此處で又飲直しに一杯飲むから、何分頼むぞ』家『ハア宜しう御坐います、御待ち申して居ります』途端に横合から飛出した闘根彌次郎、物をも言はず、次郎兵衛の襟元とつて曳戻すと、下役の長澤一角『狼藉者ッ』と呼ばはりながら、一刀スラリと引拔きさま、切込み來たるを、尺八にてハッシと受止めたる手練の早業『エイ』と一聲長澤の一刀を打落し、續いて斬り込む一人の下役の利腕とつて向ふに投れば、筋斗きつて隅田川へ泡然と計り陥る、此隙に逃げんとした大野をば、固より大力無双の闘根、さながら小供を扱ふが如く、引擁へ小脇に抱へ宙を飛んで、吾妻橋を向ふへ渡り隅田の堤を眞一文字に乘込んで來り、三圍稲荷の境内、神前へドッカと大野次郎兵衛を卸し、ホットと一息、次郎兵衛は『天狗に浚はれたと思つたら、ヤア此處は何處か知らぬ、まさか鞍馬山でも、秋葉山でも

ないやうだが』と頭を擡げて見ると彌次郎兵衛、君を何人かと見る、闘根彌次郎なり』之を聞くと次郎兵衛、天狗に浚はれたよりも一層驚き『次郎は闘根様で御坐いますか、何卒一命だけは御助け下さいまし』彌『ム、貴様の生命を取るため、此處まで界いて來たのではない、小栗美作の悪事を、残らず白状いたすに於いては命だけは助けて遣はす、併し是非を申さぬは、立ち所に貴様の首は刎ねるが如何だ』と責立てられ、包むことも能はず、遂に大野次郎兵衛、小栗の悪事を殘らず白状いたしました、闘次郎之れを聞いて雀躍して喜び、『悪人亡び、忠臣世に出づる

時節到來、是ぞ高田八幡の御手引ならん、アラ嬉しやな』と、是より大野次郎兵衛をグル／＼捲きにして、水戸中納言の御館を差して引立てました、次郎兵衛今は酒の醉も醒め果て、蒼白になり『斯らと知つたら常陸屋で飯を食つて來るのであつた、吉原町へ往つて食べやうと思つた許かりに、何物も食はずに來た、アー腹が空いて耐らぬ』と、世迷言を言ひながら、ノツ／＼曳かれて來る。彌『腹の空いた位は仕方がない、今御屋敷へ往つたら、役人に願つて湯漬でも喰はして遣はすから、サッサと往け』と引立て來つたる小石川なる水戸公の御上屋敷北の御通用門前、既に夜半のことなれば、門前に於て夜の明けるを待つて居ると、夜徹しの蕎麥賣がチリン／＼と來る。次『闘根様如何でございませう、蕎麥を一つ喰はして下さいますまいか』彌『喧しい、散々面白い事をして來やがつて、腹の空いた位我慢して居ろッ』と叱り付けられる。

お聞きなさい

▲女の顔に紅を塗る　昨今毎晩津市二番町一番町中新町邊へ十七八歳の若者が出沒し女の顔を掌で撫でるので婦人は喫驚して歸宅して見ると顔に紅が眞赤に塗られてゐるので大騒ぎをしてゐる

▲爆裂彈を葬式仕立　去る十六日支那浙江省の秘密軍事探偵が數名の革命黨員を引捕へた、この革命黨員等は六千發の彈丸を二個の棺桶に入れ一行はさながら會葬者のやうな風をして進むで行く處を迂散臭い奴と軍事探偵に嗅ぎ附られ遂に逮捕されたものである

泌尿器病 腎臓病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病 專門 入院隨意（診療夜九時迄） 永樂町二丁目 金光教會隣り 安部醫院 電話一四九一番

▲市俄古の毒ペン團　米國市俄古には毒ペン團と呼ぶ秘密結社が出來て恐るべき犯罪を企てたそれは同團から米國各地の婦人に宛て五百餘通の書面を發したが該書簡中には或る種の劇烈な毒藥が封入せられてあり又手紙を書く文字のインキにも毒藥が混じてあつて此手紙を開封して三分間以上顔に近く持つてゐると急死するものであつた郵便局で此手紙を暖爐の上に置いたら封筒の色が變色したので發見し何れも殺人の目的を達しない間に押收された

▲日本一の高い家　東京京橋尚傳馬町三丁目の四ツ角に第一生命保險相互會社の建物は昨年五月から工事を起し目下鐵骨の組立中だが建坪四百二十坪搭の上迄九階で之を延べ坪にすると二千八百坪餘る宏壯な近代式構造で大正七年三月竣成の筈である建設費は五十萬圓地下室から八角搭迄九階で地上より軒高八十七尺搭の軒高迄百二十尺更に搭の避雷針を計上すると遙に淺草公園の十二階を凌ぎ此種の建築物としては正に東京一否日本一の高い建物である

三月七日九星　舊二月四日 癸卯　本命 一白 北 廼 大安

▲一白●たて引貸の事有り新事見合四方は吉晦北▲二黑●劇の惡き事有日新事手控事肝要は妨なし▲三碧●上運の日轉居入學名弘建築求職婚禮動材業皆吉▲四綠●鐵鉄の日轉居旅行入門今弘出商金件嫁娶入定期取引等皆吉▲五黄●不取締の事有日新事手控事は吉保證請に勞せねがよし▲六白●利躁を得る日勞す勞働に疲き女子は意外の良緣を得る婚姻吉物に勝の日▲七赤●見込の當る日轉居旅行入學名弘求職婚禮介融梁を開く婚禮吉▲八白●信心のゆかり事有日新事手控事は吉一切のせわ事を禁ず▲九紫●氷炭相いれざるが如き事有り新事手控事は吉小兒病注意の事

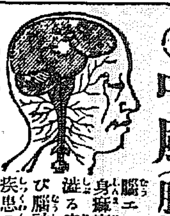
肺病の全治實歴談

全治快方 數千人ヤア實て見 實痛快 ハガキに御記入の上で申込め

私は自身肺病に罹り手を換へ品をかへての治療も更に効驗がないので殆んど失望しこれは迚もいかんと思つたが如何にも殘念である自分は多少醫藥の研究もし且つ先家は醫業であるヨシ治して見せるとの大決心を起し治療に全力を盡し苦心の結果の賜もあり新劑を製せし奇藥ウニコールを用ひ最も快し功顯の悲を流石の難病も遂に全快したのでこの上は世の同病者をも救濟したいと決心し其からと云ふものは同病者と聞くところにはウニコールを勸め多くの患者に服用せしに今日までに全治せし人數は數千人にも上り又全治された方々よりも一々感謝状を頂くに無上の光榮であるが私の希望は世間廣く津々浦々の患者に肺病患者寶典と云ふ冊子を施し自分の全治療法を知らせ其悦びを分ちたいのであるが何分此病氣に罹ると彼れが善からう之がよいと色々の治療に迷はれるので如何にも困るのである（飯）

同病者無代 第五十五版 肺病患者寶典
大勳位侯爵 東郷閣下御題字 伯爵 大隈閣下御題筆 土方閣下御題筆
ドクトル 兒島先生稱贊 醫學士 木輪先生證認 醫學士 木多先生證認

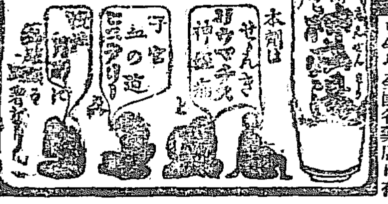
因に此特効藥は名高き大學の醫學者で醫學博士ドクトル渦輪先生、醫學士本多先生ドクトル軍醫正等多くの醫學者が實際其効力の卓絶なるはウニコールであると確認せられたとは東京大阪の新聞に報告の通りであるから同病者はハガキにて日本橋區吳服町天堂藥院安原先生宛申込其送付を受られよ……SO生



◎中風（腦溢血）　腦エンボリー半身癱瘓不隨言語溢る症腦充血及び腦神經衰弱性疾患の自宅療法には元帝國醫科大學助手ピーエッチシー藥化學者川崎先生創製の効驗著しき專門藥あり同病困難者は京都市聚田御門三條南▲川崎自療法研究所宛申込次第無料送呈す

リウマチス、神經痛と せんきに惱む人々

彼れ是と迷ふ無く確實に効く藥
神經痛が俄の寒さで夢の如く治り又は頗る難治のリウマチスや數年痼疾の疝氣で惱みし方々が神湯の御服で不思議の効力に赴き遂にはスッカリ快癒し嬉さの餘り感謝状を寄せらるゝ方が（現在保存す）一般の閲覧に供す）を送らるゝ實例も尠からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば一服を試みよ即座の輕症は無論家傳の秘方なる神湯は今や全國各藥店に有り



◎こんな徴候 ●手、足、肩、腰、膝、背、筋等がつり、しびれ又は痛み、所々と移動し ●何となく胸苦しく ●食欲進まず ●便秘又は下痢 ●過ぎ ●寒氣上逆 ●耳鳴 ●頭痛 ●重く肩凝 ●腰足冷へ ●根氣なく ●記憶力衰へ ●物事に倦み ●手足の浮腫 ●リウマチス神經痛及婦人病より起る事も多き等の症に惱む人は片時も早く神湯を試みよ

價 一週間分 五十錢 二週間分 九十錢 三週間分 壹圓三十錢 試用 十錢

本舗 名古屋市東區東京町二丁目 荒川長太郎 振替口座 名古屋 三一三一番

持約店 京城南大門通 新井藥房

◎月やく　止りて御心配の方はハガキにて神戸市有引町一丁目十一山口小町屋へ御申越下さい身體に害なく下る妙藥を人助けの爲め御知らせ致ます

履物問屋 井筒屋田屋本店 大路本店 大阪市御堂筋北久太郎町 電話東十九百番 振替大阪六四一八八 一御一報次第相場表御送付可仕 大阪履物新聞進呈（毎月一回發行）

◎洗濯絞り機械 神戸市兵庫川崎町 網市商店 振替口座大阪三〇〇五番

◎發生の時期なり ◎今の内に御用心あれ
梅毒胎毒横根痳病リヨマチス等の病毒より來る病毒は悪菌を治滅すると共に安全に體内より驅除すべき靈藥により其目的を達す現今幾多の梅毒藥中胃腸障害其他の副作用を起さず此の特効を併用する梅毒專門藥は唯一丸なり 百藥効なき方は速に此良藥により不安を去られよ

梅毒藥 唯一丸

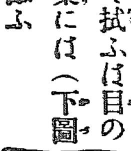
三日分四十錢 一週間八十錢 二週間一圓五十錢 一ケ月三圓 特製九圓十三圓
◎全國有名藥店にて販賣せり（品切の時は直接御注文を乞ふ）
梅毒養生法（要送料）
發賣元 東京市牛込區神樂坂上 中西藥局 中西莊吉 振替東京千五百番

滋腎 田春丸

陰萎病並に神經衰弱に大効あり
壹週間分 金七十五錢 三週間分 金貳圓也 送料各二錢
東京銀座 岸田吟香

目ニ見ヘテズングトキク シユマズイタマヌ 井上博士ノロート目藥

(一)ロート目藥は眼科を以て有名なる東京眼科病院長獨國醫學博士井上豐太郎先生の處方に係り大前藥學士の督製なれば患者は安心して用ゐることを得
(二)病眼を不潔の手布等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には（下圖の如き消毒したる布を添ふ
(三)點眼器の鉾の尖りたるは目に危險なりロートの點眼器は鉾を丸くしたる故危險の恐なし
(四)シユマズ痛まず故に小兒に用ふるに便利也藥は必ず思ひ立たる時買ひ玉へ



のぼせ目、はやり目、トラホーム、ほし目、ち目たゞれ目、つかれ目、こり目、かわき目、つき目かすみ目、ごろ／＼する目、はれ目、めぼし、くもり目、ものもらひ、黒玉たゞれ等に奇効あり（但しそこひには効なし）

登録商標

大瓶 二十錢 小瓶 十錢

ロート目藥本舗 東京日本橋區本銀町三 山田安民藥房 大阪市東區南久寶寺町二 山田安民藥房
●全國各藥店にあり

尼崎汽船仁川出帆

◎神戸大阪行 大吉丸 大代丸 蛟龍丸 若竹丸 月 日後四時出帆
仁川海岸通 取扱店 尚杉回漕部

朝鮮郵船

金剛丸 京畿丸 三月廿三日 釜山着
黄龍丸 成鏡丸 三月十三日 三月七日 釜山着
會寧丸 昌平丸 三月十四日 三月十二日 元山着
忠清丸 平壌丸 三月八日 三月二十日 元山着
永興丸 毎月六回 元山着
江陵丸 毎日
三浦丸 三月五日 釜山着
濟州丸 巨濟丸 慶尚丸 毎日 釜山着
順天丸 三月 日 木浦着
慶興丸 三月九日 木浦着
公州丸 三月十二日 木浦着
公州丸 三月六日 木浦着
全州丸 三月八日 仁川着
江原丸 三月七日 仁川着
麗水丸 百濟丸 三月十三日 仁川着
錦江丸 南陽丸 毎日午前 仁川着
平安丸 三月十四日 群山着

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 三月廿一日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 三月九日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 三月七日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 三月十六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 三月十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 三月十九日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十六日廿三日 一日廿六日 午後十時出帆
大池回漕部

仁川共同汽船出帆

芝罘、大連行 月 日後二時入港 月 日前九時出帆
城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 月 日後九時入港 月 日出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日前入港 月 日出帆
（元山出帆）阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取扱店 河村運送店

京城日報

六日朝刊（夕刊と合せて十二頁）

本紙定價 一部金五錢 [illegible]
發行所 合資會社 京城日報社 [illegible]
廣告料 [illegible]

財界時言（四月五日）
朝鮮輕便鐵道

○風に計畫せられたるも種々の事情あつて成立の運びに至らざりし朝鮮輕便鐵道會社は、其の出願全く然して先月中旬に到り[illegible]鐵道敷設を認可し、會社設立の許可を與へられた

○朝鮮に輕便鐵道を速設せしむるの必要に就ては、吾人は屢々切論するところありき。然れども朝鮮は遂に内地一般經濟界不況の爲めに、行なる輕鐵事業も資本家の投資を喚ぶ能はずして、吾人をして徒らに望[illegible]の嘆に堪へざらしめしが、今春界の好調なると共に、朝鮮輕鐵[illegible]の創立事務大に進捗し、當局の認可を得、茲に設立確定して既に決定せる引受株の第一回拂込を行はんとするに至れるを見る、吾人の欣快措く能はざる所也。

○我が朝鮮に於ては、當局夙に鑑みる所あり輕便鐵道令を施行し、其の完全なる發達を助長するの意味より、合法的に計畫經營せらるゝものに對しては營業開始の前後を問はず六分の配當を擧げ得るまでは補給を與ふる事とし、以て斯業の發達に對し保護奬勵至らざるなし。而して政府が國家の財力を割きて斯の如き保護を輕鐵事業に與ふる所以は、朝鮮に於ける幹支線鐵道の延長は一千哩を超え、道路も亦年々完備に近づきつゝありとは言へ、鐵道は未だ大幹線と最も必要なる枝線を有するに過ぎず、道路と雖も未だ整備せりと云ふ能はず、從つて交通機關と縁遠き奥地の産物殊に米の如きは今日と雖も市場への運搬不便にして運賃嵩み、米價下落の際地方農民の困苦甚大なるものあり、而かも鐵道の建設、道路の築造の如き之が完成は國家財政の都合上急に望む能はざるが故に、朝鮮開發上最も必要にして幹線鐵道の營養線たるべき輕便鐵道の計畫は寔に一日も遲延を許さゞるものあればなり。

○朝鮮輕便鐵道會社の特許線は、慶尚南北道に跨がり、大邱を起點として所謂南鮮の中央を東に突破して、慶州より浦項に出で、更に慶州より南山に至り、再び分岐して長生浦に支線を延し、而して本線は東萊に至るものにして其延長百二十一哩也。

○會社成立後直ちに大邱慶州間四十二哩の第一區線の工事に着手せらる

大連と其貿易

く、其の背後に一帶沃野相連なり、都邑所在に多く、人口の稠密にして物資豐富の饒多なること南滿一と稱せらる。[illegible]

○但だ吾人が[illegible]其の創立[illegible]事業に[illegible]ると同時に其經營[illegible]し、眞に地方開發の爲めに努力[illegible]ざらんことを[illegible]故に特に希望する次第也。

[illegible]の一昨年末頃に増加して[illegible]大連經由船積貨物の減少せしは事實なるも然らば大連貿易の上に甚だしき打撃を加へたるかと云ふに必ずしも然らず大連貿易の好況は依然たるものにて著るしき増進の傾向を有す

▽昨年の貿易額 に則て之を談ずれば大連貿易は明治四十二年に於て前年に比し輸入減じ輸出激増の盛況を見たる外年々順調に増加し來れるが昨大正四年は輸入五十三萬七千二百三千噸、輸出百七十三萬二千三百六噸といふ成績にて其の増進割合殆んど開港以來の新記録を作れり輸出貿易の増進は當然とするも輸入[illegible]

▽輸出貿易品 の重なるものは豆粕、大豆、石炭、豆油、食料品雜貨、包米等にして出貨先は日本を第一位とし支那及び南洋之れに亞げる日本への仕向港中昨年に至りて從來なかりし新潟、七尾、淸水、若松[illegible]諸港を加へたるは一新路を開拓せるものと云ふべく[illegible]

▽大連港の位置 は英國の倫敦港、佛國のマルセーユ港、獨逸の[illegible]

北鮮の山水（2）
東拓理事　村田俊彦

南進か北進か（續き）

…の匈奴に苦めらるゝこと惆むべきものありしも、唐太宗は既に威を此地に示し、今日は滿洲蒙古伊犂等皆支那の領土と呼ぶに至り、而して南の方夜郎の邊は、固より夙に中國に屬すと雖も、林邑即ち安南の地方は、一時隋の煬帝に侵されしことありしに拘はらず、今日は却て一獨立國を爲すに至れり。中國内に在りては、或時は北人南に勝ち、或時は南人北を制せり。殊に明朝の如きは、南人を以てして北狄の元朝を覆へし、久しく中國に南面せり。支那の歴史此の如し。歐米に就て之を見るも、南下して効を奏したるフランクス王國、フランス、普魯西、ニューエングランド等あるも、亦北進して能く其目的を逐せしサラセン人、西班牙、エングランド（大英國にはあらず）等あり。又南に北に威を振ひし羅馬の如きあり。要するに南進北進の成否論は、好事者の空論に過ぎず、君子の傾聽すべきものにあらず。南よりするも北よりするも、明あり徳あり威ある者が能く効を奏せんこと、水の低きに就くが如くならん而已。易に曰く、地上有水先王以建萬國親諸侯と。若し强ひて南進北進の説を爲さば大和民族は寧ろ北進すべき民なるが如し。高天原の事は扨措き、畏こくも神武天皇は日向の國より北進して大八洲を奠め、大和の橿原に都し給へり。夫より日の御子に從へる者は漸次蝦夷を平げ、遂には樺太までも徳を洽うするに至れり。又各武族間に就て之を見るも、平氏の滅びんとするや、南進せる木曾義仲は敗れて、却て北進せる源頼朝が征夷大將軍となり、六十六州の總追捕使となれり。元龜天正の頃、天下麻の如く亂るゝや、比較的南方の地より起りし豐臣秀吉、徳川家康が、遂に關白又は將軍の位に上るに至れり。朝鮮の民族も、前に述べたる如く、北進して成功せしものあり、南進して目的を逐せしものあり。而して若半島を分割領有せしものにして、深く論ずるに足らず。要に朝鮮全地を領有せしは李朝にして、李朝は南進せしものなりや、北進せしものなりやと云ふに、一見南進せしが如き感あるも所謂南進せしものとは云ふべからず、實は北進せしものなり。南進と見ゆるは、唯太祖が北方の生れにして、南來せし爲めなるのみ。太祖は別に國を建て、高麗を亡ぼしたるものにあらざれば、生地の故を以て南進北進論を李朝に擬することは能はざると共に、北鮮の地は李朝に至り初めて平定せしものなれば、此點に因りて北進して成功せしものなりと云ふことを得べし。況んや假令李朝家の故郷より觀るも、北鮮は一時の僑居に類するに過ぎず、其發祥の地は南方なるをや。發祥の地より論すれば、高麗朝家亦北上せしもの也。以上論じたるところは政治上の事のみ。經濟上の事に至りては一層北進と南進とに區別無し。富在る所茲に進んで成効せん耳。余昨秋北鮮に遊ぶ。北鮮の事情未だ南鮮に於けるが如く明かならざるものあり。又産物の却りて南鮮に得られざるものも之れ有るに似たり。名勝舊蹟の如き、殆ど南鮮が獨占するが如く思はるれども、決して然らず。内地人は勿論朝鮮人亦北鮮を忘るゝ恐れなきやを憂ひ、昨春本紙上に於て聊か南鮮の山水を語りたるに對し、北鮮の山水と題し、山水を語る傍、經濟上の感想をも述べ、又之を緯とし、種々感じ來りたる北鮮の事情以外の事をも浮び出づるに任せて語らんと欲す。枯木も山の賑ひとならば幸甚。

大阪より

かへべしと稱せらる（大連）

△ク博士の渡鮮 第二十四回日本聯合共勵大會は四日より（三日間）大阪土佐堀青年會館に於て開會せり會長クラーク博士夫妻は三日午後三時四十分着阪田町三十一番ミッチェン氏方に投宿せり四日午後一時より梅花女學校の歡迎會に臨みリセプシヨンを了つて午後七時半より青年會館に於ける大會に臨み當夜九州帝大の[illegible]博士は「人間の價値」に就て演説をなしクラーク博士は拍手喝采に迎へられて登壇し『世界と友人』と題し滔々數千言を縷述せり、五日は早天祈禱會、少年部大會、七教會の演説會等は開催すと尚ほ六日夜青年會館に演説會を開き原田同志社長は「宗教は生命なり」クラーク博士は「世界的の運動としての共勵會」と題して演説をなす外ク博士夫人は五日天滿教會に於て少年少女の爲めに六日島の内教會に於て婦人の爲め講演を爲す博士夫妻は七日大阪出發朝鮮に赴き諸所視察の傍ら講演を爲し朝鮮より上海に於ける支那共勵大會に臨み三月末或は四月初旬日本に再び來り米國大統領ウヰルソン氏の紹介狀を持ち我が天皇陛下に謁見仰付けらるゝ筈なりと

△英合同希望 [illegible]

△對露小包增加 [illegible]

△朝鮮電氣社長 故右近權左衞門氏の後任として同社長は大阪の杉村正太郎氏推選されたり（[illegible]大阪支局發）

燈臺の話

[illegible]

東京の中央氣象臺
朝鮮總督府觀測所

[illegible]

現今歐洲文明の各國に於ける氣象學研究の進步發達は[illegible]世人は既に有名なる二三の學者の大著に由りて知れる所であるが、最も目新らしい進歩の一つは、地上に於ける氣象觀測の外氣圏、高層の氣象觀測を研究し、且つ又實行されつゝある事である。我が國に於ても早晩之れが設備の必要あれば、國家財政の許す限り一日も早く之を設備されなければならぬ事であると思ふ、先年佛國に於て開かれたる萬國氣象學會に參列を命ぜられて歸朝せる、理學博士中村中央氣象臺長の談を間接に聞く所によれば、巧に風又は輕氣球を利用して觀測する仕掛で、其の設備の最も完全せるは、[illegible]の觀測所で、之れに要したる經費は、實に數十萬圓に達したと云ふ事である、歐洲各國の進步は實に驚くべきである。

日本に一つ…………

安心して買へる學生帽子は之れです

日ノ出向鳥印學生帽子

實質の良き點を他の帽子と御比較を願ふ

A號一圓　B號八十錢　C號六十五錢（形狀種々あり）

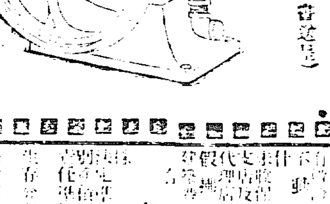
到る處の勉强な帽子雜貨店で賣つて居ります「向鳥印の學生帽子」と御指名を願ひます

▲商標に御注意▼

製造發賣元　吉安商店　東京馬喰町

太陽　生活　三月號　定價金十八錢　東京本町　博文館

貴重品の保存法……
日々の散歩……
私の周圍……
大正奇人傳……
政界の表裏（つ快文字）……無名隱士
故加藤博士と思想……
春は悲しや（長編小説）……
日英同盟の過去と將來……
基礎工業確立の必要……
戰局と戰後……
加盟と對支警告……
三月號　定價金三十錢

石油發動機

二葉商店

日韓書房　新版報告
興國と滅亡
怪美人
平和の目まで
教育畫報
京城本町二丁目

横濱生命保險株式會社
取締役社長　小野光景
專務取締役　大濱忠三郎
取締役　石川徳右衞門
取締役　渡邊文七
取締役　中村房次郎
取締役　茂木惣兵衞
監査役　若尾幾造
監査役　原富太郎
監査役　瀧澤義一
京城黄金町二丁目

第九回決算公告
資本金　壹百萬圓
諸積立金　貳萬貳千五百八拾七圓四拾八錢
[illegible]

英露親交晩餐會

親交は永遠同盟=海上の威力を賞讃

二日ペトログラード來電に據れば同地に於て盛大なる英露懇親晩餐會開催せられ英國海軍少將スターデ露國外相サゾノフ兩氏も列席せり駐露英國大使は英露の親交に就きて縷述し兩國現下の親交は永遠の同盟となるべきを疑はずと切言し露國側の列席者は交々立ちて英國の海上に於ける絶大なる威力を賞讃し敵封鎖を強固にしつゝあるを激賞せり(倫敦電報)

雲南軍安順府到著

湖南省永周府の陷落を傳ふ

重慶より貴陽府に著せる報道に據れば雲南軍約四千は安順府に到著し其の中數百名は貴陽府に入れるも市街は平穩なり同地方の諸新聞紙は孰れも獨立軍の勝利を傳へ又最近湖南省永周府も陷落せる旨報じ居れり(上海特電)

支那機器局合併計畫決定

北京政府は兵器總監督林冰の建議を容れ上海の機器局を漢陽の兵器廠に合併し全國製造總局と爲す事とせしが更に又漢陽の分工場を二個所に設くる事を決議せり而して一は河南省黄河々岸に一は湖北省[illegible]に設置する事とし既に夫々建築の準備中なり(北京特電)

英國海兵八個師團

英國に於ける十九歳以上二十六歳迄の海兵八個師團は來四月七日より服務すべきを以て今週末召集すべき旨發表されたり(倫敦電報)

瓦斯計量機檢査

當局に於ける瓦斯計量機の檢査は四月一日より實施すべく目下其の準備を急ぎ居れるも檢査所建築の都合上或は多少の延期は免れざるべく而して機械檢査料金の制定に就ては詳細調査を了し居れば之亦近く發表の筈なるが瓦斯當業者は當局の諮問に應じ極力檢査料金の引下を希望し居れり

モリソンの建議

支那政府政治顧問モリソン氏は黑龍江省の總ての金鑛を官營とすべき旨の建議を提出せり其理由は金貨準備の資源を裕にする事及び露人の竊鑛を防ぐ事に在りと(北京)

天山南北鎭守使(設置)

新疆天山南北路は露國及び西蒙古に對する要衝なりとの理由にて兩鎭守使を新設する事となり楊督辦を天北鎭守使劉長炳を天南鎭守使に任命す

擊沈佛艦溺死三千

獨逸潜航艇の爲めに擊沈されたる佛國補助巡洋艦プロヴァンス號の溺死者數は最近の報道に據れば三千人以上に達せりと(倫敦電報)

法廷で浪花節

放火狂女の供述

[illegible]現場に出張取調べたるに果して放火なること判明したり犯人は熊野の娘と判[illegible]松葉に放火たゝつけた理由は親が知[illegible]より萬め來る松葉にマッチを以て點火し之を[illegible]

世界海運市場

日本中心とならん

海運界の變調は最近英國政府の商船徵發及び米國政府の船舶輸出禁止と云ふ大事實に依りて更に益々急激を加へ將來大西洋方面に於て騰貴を告げつゝある運賃界の波は昨今

▲漸く太平洋方面に推移し來りたる如く即ち歐洲方面は常に傭船運賃さも騰く先月の如きタイムチャーター料噸卅五志見當なりしに太平洋方面は僅か卅八志内外にて歐洲方面が卅七志六片に對し太平洋方面も卅七志半と殆ど同一の步調を進むるの奇現象を告げ來りたるが右に關し

▲神戸海運界にて觀測する處に據れば英米諸國の商船直營又は船舶輸出禁止は商船の航海を制限し賃貸を抑制する結果を來たし之が爲め自然船價は一定に制限され今後ヨリ以上の昂騰なかるべく連れて運賃及び傭船料も同樣の制限を受くるに至るべければ從來船價や運賃の騰騰を目的に多大の危險を冒して遠く大西洋方面に向ひたる各國の船舶も自然

▲別方面に活動すべく從來大西洋方面に活動せる英國商船は漸次英本國に歸還し政府の命令次第夫々の航路を採る事となるべければ貨買又は航路の自由を有せる本邦海運界は今後或點迄は世界海運市場の中心となり運賃騰貴の利益を占め得べく殊に英米諸國の今回の舉は一に歐運に適すべきものなりと

内地の事業界

資本の激増

日本銀行の調査に據れば二月中の銀行會社の新設資本額は一千三百三十二萬五千圓擴張に於て九百七十六萬千圓合計二千二百九十八萬六千圓を示せり之を前年同月に比較すれば新設に於て千六百七十萬圓、擴張に於て三千四百九十六萬圓を増加し合計に於ても五千百三十萬五千圓の増加なるが更に一二月の累計を各事業別に見れば左の如し

業別	新設	擴張	合計
銀行	[illegible]	[illegible]	[illegible]
紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鑛業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水產	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵道	[illegible]	[illegible]	[illegible]
製造工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
保險	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前年同期	[illegible]	[illegible]	[illegible]
比較增	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右に據れば前年同期に比し新設資本は二千百四十八萬五千圓增の六千百十五萬九千圓擴張資本は六千四百三十三萬九千圓增の七千九百二十七萬九千圓の累計に於て八千五百七十八萬九千圓激增して一億七百萬四千圓を示すに至れり

青島歸客談

最近青島よりの歸客談に據れば山東鐵道の收入は一日一萬圓にして四年度に於て約二百五十萬圓の收入に止りたるも五年度の收入豫算は約五萬圓の見込を立て居れり輸送の種類は內地同樣旅客貨物石炭の三種にして其主なるものは淄川坑の石炭なりとす

▲山東唯一の炭山は蓋し淄川炭坑にして其鑛量實に十一億噸は無煙炭にして彼の英國カーヂス炭に比して優劣なし本炭坑は六年前青島獨逸政廳に於て其採掘權を獲得したる者にして青島より百五十哩の驛より淄山支線にて二時間にして達す目下支那坑夫三千人を使役して一日約千五百噸を採掘しつゝあり本坑は二箇所に三百六十米突の縱坑を置き同地點より縱橫に橫坑を置けり本坑の特異なる點は礦量の豐富なると無煙炭にして坑內に瓦斯氣なき點にして裸火の儘坑内に這入るも瓦斯の爆發するの憂更になし一噸の採掘諸經費は約一圓卅四五錢にして之を

▲悉く青島に搬出し販賣し居れるが其價格は一噸約八圓より十圓にして粉炭は四圓內外にて賣却しつゝあり蓋し火力熾烈にして煙炭に混入して焚くときは多大の利益あり山東鐵道金嶺鎭驛より四哩半の地點に鐵山金嶺鎭あり其鑛量一億噸にして鐵の含量は六十パーセントなりとす其採掘權は既に獨逸政廳支那政府より獲得し完全なる調査を遂げ試掘に着手し採掘設備に着手し既に三百米を掘り拔き居れり然るに端なく我軍に攻略せらるゝ所となりて之を中止し調査書類並に設計圖は悉く之を押收せり今百米突を採掘すれば其鑛脈に達する筈なり

▲將來我軍政署に於て採掘せらるべき模樣にして其調査に時を待しつゝあり其他山東半島の鑛山としては[illegible]炭坑ある も我軍政署に於ては其採掘の價値なしとして放棄し居れり[illegible]

▲之を裁判しつゝあり軍事法令は三種にして青島に於ける法令は軍法と[illegible]收容監獄に於て服役せしむべきは三月以內の服役者にして其以上のものは內地に護送し居れり昨年中に於ける犯罪の統計は軍事法令に觸れたるもの支那人二百七十名其他約五百人に達せり本年に入りて既に裁判せしもの六十餘件に達し殆んど軍事占領地裁判所と云ふより內地の普通裁判所と同樣にして其數の多き事日本一なるべし又窃盜或は居貨取立等裁判を爲す

▲無資產者なるも債務者多くは[illegible]時は其頭に耐へざる故に[illegible]作は軍事法に照して[illegible]の如きは判決を下す[illegible]

濟津港(二)

位置と市街

日本海橫斷航路或は浦潮、敦賀、浦潮間の三角航路を各汽船會社に於て容易に開始せざるは目下の如き戰亂の影響を受けたる亂調の時代は別として平時に於て=一は港灣の良否又は會社の營業方針にも由れども三角航路の一點たる淸津港に於ける貨物の集散が各汽船會社の意に滿たず、折角航路を開始するも積荷の不足を來すを慮りたるに職由せずんばあらず、故に若し淸會線又は進んで吉會線等の鐵道開通し、奧地大陸との交通至便となり、所謂海陸連絡を完全に行ひ得るに至らば、各汽船會社は先を爭ふて、此航路を開始するに至る可し、故に淸津港が將來發展の鍵は、淸會鐵道に據られ居るものなりと云ふも過言にはあらざるべし。淸津港は南方遙かに日本海を隔てゝ四百八十二海里にして敦賀に達し東方五十海里にして浦潮斯德に至り、更に百二十海里にして[illegible]に達し、西方約二十三里を以て支那領間島に至る可く陸上又[illegible]するを得可き地點にあり、市街は高秣山の北麓雙燕山の南麓に介在して平地に乏しく隨つて其接續海岸を埋立て、山腹の開鑿又は海岸埋立工事を施して市街の面目全く一新し昔日の一漁村は一變して小都市と化するに至りたり。併し尙其當時に於ける市街を見るに日本建の家屋としては僅かに十數軒のバラック式の假館に雜居し、其他は明治町通り即ち海岸通りの一部に過ぎず建物らしきものとてはなく、市街は雜多にして丘陵又は野原にして、街區を爲したる各町の多くは雜草の茂る荒蕪の地なりき。然るに開港後各國に向つて港を開放するや、一躍して鮮人は新岩洞に、內地人は市街の一部に移轉し、第一期の市街の經營に着手したり、第二期の海岸埋立工事竣工を告ぐると共に、市街の中心點は漸く西方に移動し、敷島町、明治町、入船町、彌生町は貿易商、銀行、會社等の大建築物軒を接するに至り、又昔日の面影を留めず、輔た蕭條の感を起さしめたり之を以て淸津港の市街經營時代とす

北鮮漁業不振

[illegible]

東拓移民渡鮮狀況

[illegible]

包裝改良と慶北

[illegible]朝鮮貿易商同業組合聯合會[illegible]總督府[illegible]其の申請書を提出したるが其の由請書左の如し

[illegible]

▽不徹底ながらも

[illegible]

戰後の人口問題

[illegible]

されて居たのであるが、右は今や彼等に對して國家の爲に持たることの義務を果さんことを新に要求せざるべからざるに至らんとしつゝあるのである蓋し

▽戰爭に從軍せる歐洲交戰諸國の靑年は其數二千萬人に及び戰爭終結後に健全者として鄕土に歸るべきものは其數甚だ少かるべく其結果生產率の莫大なる減少を見ることは極めて明かにして從つて婦人の名譽に關することなくして歐洲の人口を如何にして恢復すべきか恐るべき生產率減少の問題を如何にすべきか此等が今日當面の問題である、而して失はれたる地球上の人口を恢復することは已に婦人の愛國的本分に屬するのであつて

▽國民的の立場から云ふと、必ず何等かの手段が講ぜられなければならぬ、而も最も健全なる男子は甚しき缺乏を告げてゐる、如何なる方法を講ずれば婦人をして其愛國的本分を成就せしむることが出來るであらうか、世界に對して人口の缺乏を補うて相當なる均衡を保たしむるには男女間の生殖的法則が如何に變化さるべきか、自分一個人としては斷乎として此處は自由戀愛を主張したいのである。勿論男女間の生殖的關係としては結婚が唯一の正當なるものであり、家族制は最も

▽神聖なる制度であるが非常の際には異常の方法を執らなければならぬ、而も其處には相當なる何等かの法則がなければならぬ、即ち此點に關して最も多大の關係を有するものは英國教會と政府でなければならない想像以上に多數である英國の國教徒等は既に生產率減少の問題を論じて、如何なる方法を以て之を適應すべきかを考究し、或は殆んど信ずべからざる程度までの讓步を教會に向つて要求しつゝあるが、其讓步は到底宗教の立場からは許し得べからざるものである自分の考へる所によると

▽平和克復と同時に即ち此問題に關して新なる戰爭――宗教上の新なる戰爭が起らなければならない、云ふ迄もなく寛大派と頑固派の二派に[illegible]に必ず何者かゞ講ぜられなければならぬことは明言し得るところである

奉天戸口調査

[illegible]勢再び地方に蔓延するに至りしより[illegible]助を受けて還り戸口を調査し匪徒を[illegible]黑龍江省に於ては移民の[illegible]

本日朝刊八頁(附錄共)

口祝三千號　大塊居士

號三千祝ひめてたし花の頃

物品拂下

一第一號　古外輪汽車輪　參所在品

一第二號　古金物　壹臺　同上

一第三號　古車輪

右來ル參月貳拾八日手數料局倉庫ニ於テ入札ニ依リ賣却ス詳細ハ參月四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

大正五年參月六日

朝鮮總督府鐵道局

女生徒募集

新學期開始四月十日

卒業生の資格は官公立高等女學校及同等以上の學校に入學し得[illegible]申込順により許可す入學案內は[illegible]請求次第送付す

文部省指定

下關 梅光女學院

旅館 月見館

茶代廢止 席料なし

東京市芝區愛宕町二丁目

閑靜清潔交通便利 電話芝一八六五番

第六回決算報告

(自大正四年二月一日 至同十二月三十一日)

貸借對照表

資產ノ部	
未拂込基金	[illegible]
現金	[illegible]
郵便振替貯金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
貸付金	[illegible]
有價證券	[illegible]
不動產	[illegible]
什器及備品	[illegible]
未收利息	[illegible]
代理店貸	[illegible]
假拂金	[illegible]
敷金	[illegible]
建築費假拂金	[illegible]
供託金	[illegible]
依託金	[illegible]
合計	[illegible]

負債ノ部	
基金	[illegible]
基本積立金	[illegible]
法定準備金	[illegible]
責任準備金	[illegible]
保險契約準備金	[illegible]
支拂備金	[illegible]
代理店借	[illegible]
身元保證金	[illegible]
假受金	[illegible]
剩餘金	[illegible]
合計	[illegible]

損益勘定

本年度總收入金	[illegible]
本年度總支出金	[illegible]
差引剩餘金	[illegible]

差引剩餘金ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金	[illegible]
基本積立金	[illegible]
保險契約積立金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
基金利息	[illegible]
次年度繰越金	[illegible]

右ノ通相違無之候也

大正五年二月二十八日

東京市京橋區銀座一丁目六番地

東海保險相互會社

專務取締役　久保勇

取締役　松方五郎

同　藤田昆直

同　風間八左衛門

同　矢板武

同　今西與七郎

右ノ帳簿及財產ヲ調査シ前記ノ通相違無之候也

監査役　南條新六郎

同　阿部市三郎

追テ任期滿了ニ付選擧ヲ行ヒタル結果監査役南條新六郎、阿部市三郎重任小川源次郎、春田結[illegible]當選就任致候

京日案内

▲普通(一回[illegible])

▲書生至急入用[illegible]

◉乳母至急入用[illegible]

◉鑛山會社勤務員[illegible]

▲御報知[illegible]

▲古木買受▼ 京城本町電話二五二七[illegible]

◉勿見落 定價の三分一で[illegible]京城本町一の四九電話一三[illegible]

◉貸地 南大門通り[illegible]三十坪餘望の御方は[illegible]黄金町[illegible]喜多金光堂(電話一〇一五番)

番外

好職 利益多大[illegible]男女誰でも出來[illegible]

今が申込の時機 [illegible]廻讀會

外勤社員招聘 [illegible]共保生命

類燒移轉 京城本町三丁目[illegible]川村習次郎

向貸家 [illegible]

生ガキ特約販賣店 京城旭町二丁目 三友商會 電話三三一六

皮膚病花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一商品陳列館坂の上 電話二一〇二番

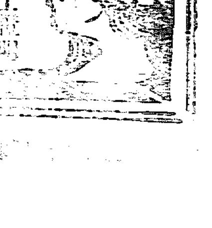
◉訂正 昨五日朝刊[illegible]の誤植に付訂正す

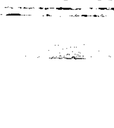
宮内省御買上 各宮家御用

二條公 土方伯 大原伯 御後援

小久保 日[illegible] 兩醫學博士說明

ミルド 化粧液





東京 [illegible]

北鮮奇觀『トロ』旅行

一歩間違たら一大事—其責任は自ら

無蓋車の開放的にして明快的、平民的なるに比すれば有蓋車即ち定期又は貴賓車の如きは女性的で貴族的なるもの遠く云へば

▼監獄の囚人を運搬する護送車なるものと何等選ぶ所がない只硝子窓のあると無きとの相違に過ぎぬ、故に『トロ』旅行に必ず有るべき要素は我慢しても無蓋車を用ゆ可きであると思ふ只だ無蓋車は危險が多いと云ふことであるが案るに比して危險が多いと云ふことであるが有蓋車こそ多く危險が伴ふて居りさうだ、それと云ふ場合に飛降りる丈でも無蓋車の方は便利であるが有蓋車となると箱詰にされた荷物と一般

▼一寸の動きも取れたものではない記者今回の旅行の經驗に於て切に此無蓋車を推奨する、貴賓車と云ふ車は一番上等だが危險も亦一番多いとせられて居る第一に運轉して居ないために車と軌道との摩擦が甚い許でなく運轉手も車の加減を知らないために禍が起りやすい

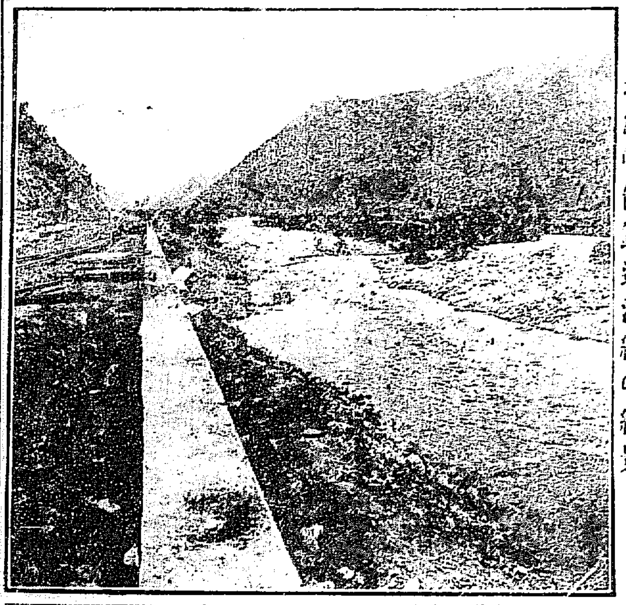
▼貴賓車や定期の臺車には比較的熟練の運轉手を附けるけれども危險が多い記者の旅行した日の前にも羅南鏡城間の谷間で某檢事が墜落したと聞いた、先づ傷害保險でもつけてから『トロ』旅行をすれば、死んでも餘り損は行かぬ位に心得て居れば、大した間違はあるまい、汽車や汽船で旅行して途中故障でも起らうものなら

■損害賠償だの人權問題だのとの裁判沙汰に決つて居るが『トロ』旅行には思ひも及ばない

に貨物が便乘するのでなくて

◇貨車に客が便乘 すると云ふ方が適當な交通機關、人命を保證して居るやうな事は無い、サテ『トロ』の乘り具合は如何と云ふに臺車の前方の一段低い處に足を載せ後方の平面板の上に荷物を敷きそこに腰を安定して客の位置が定まる二人乘合の場合ならば二人が横に列ぶ、三人の場合は二人は前に一人は中央に坐る、それから運轉手と云つた格の支那人又は朝鮮人は上りの場合

◇例へば清津より 羅南に向つて行くとか輸城より蒼坪に往く時は二人で後ろ乘る際は一人とつまり坂路の關係で運轉手の人員が違ふ鐵道で云ふなら上りの場合は機關車が前に後に著くと云ふ樣なものだ其機關車代用の運轉手が臺車後方の一角に四尺位の棒を突込んで押す臺車が走り出すと其棒の上に恰度鳥でも留つた樣な格構で飛乘り車の平均を取つて居る徐行しだすと又押すこんな調子で上りならば十里の道を七時間半位で行く到底牛の比に非ず料金は清津の中央停車場に相當する松木で一定されてあるから支那人でも朝鮮人でも一定して居る併支那人は力が強い其上脊から清津迄二十五里の間を普通なら中で一泊するのであるが支那人ならば朝の七時頃に出て夜の八時頃には清津に著く尤も途中には十錢なり二十錢なりの酒錢を奮はなければならぬそれでも中で一泊するよりは經濟上得策だから大低の者は此方を選ぶ所で來る、京城邊ならオーライ〳〵と云ふ所を北鮮ではパリ〳〵と云ふ、車が…乘客が…すれば…



北鮮輕便鐵道沿線の絕景

■大迂回線

を一瀉一里の勢で突破する時は餘りいゝ氣持はせずカマニ〳〵を連發して制動機を締めさするまり脫線でもすれば此世の別れ—其責に任せずに進られた總ふのだから耐らない全線の中で最も至難所と云ふのは茂山嶺で此邊には時の坂の降口に『下降』と札が立てゝある者し

■此禁を犯して 臺車に乘つてたまゝ坂を降ようものなら途中で怪我をした上に憲兵さんから大目玉を頂戴するそれでも乘慣た者は急坂一里の下りを滑るのであるから其痛快と云つたら比喩やうがないので乘りたがつて仕方がないと云ふことだ、大事を取つて從通り此坂を徒歩する場合は臺車は空車で行くそれでも線路は茂山嶺下の溪谷を大迂回して居るために客の方が先に行つて麓の線路に待合せて居る時間がある、こんな具合で

■臺車に乘つて 行くと三四里毎に停車場があつて驛長さんと憲兵さんが著車を待つて居る、其又驛長さんが頗る振つて居て一箇月十何圓かの手當を受けた內地人驛長が車が著くと水鼻を啜りながら盲目縞

◉此病毒を驅逐し去れ!!

保健調査費—都會と田園の生活

內務省にては今期議會に於て保健調査費二萬…の協賛を得たるので、四月から早速其調査に著手する段取となつた

△歐洲の戰亂に 際して…は直に國家の…と云ふ大問題であるがこの大問題は獨り佛蘭西に限らず全歐を通じての頭上に懸つてゐる英國では一千八百七十一年以降五箇年間の出生率三五・五パーセントを最高…であつたが一千九百十一年には…に降り獨逸でも千八百七十…以降五箇年間の…を最高としたが一千九百十二年に…つて二八・三に減じた併し一方に於いて死亡率の低下は近世の…

△最高率を示し 一千八百七十…十一年以降五箇年の平均に依ると、…

佛國は二五・〇パーセントであつたのが千九百十二年には一七・五となり、獨逸では二八・二であつたのが一五・九となつて比較的變化なく…

△著しく增加し …

△晩婚の傾向を …

◇永滑りをやつて …

◇新興の日本國民 …

操縱者に下士採用

陸軍航空隊新企畫=先飛行中隊を

陸軍航空隊にては歐洲戰爭に於ける航空機の活動に鑑み今回愈々飛行機操縱者として下士を採用する事に決定し目下考究中なるが頗る其他に伴ふ複雜なる地形の判斷地圖の作製等頗る頭腦明晰學課優秀なる者を採用するの要あり是が爲め飛行中隊より先づ選抜し其の結果に見て漸次全國各師團に及ぼすべく學課演習の傍來月より杉野步兵大尉等教官として練習を開始すべし（東京特電）

■脫線ごし

◉積雪二丈

北海道列車不通

二十九日午後より一日未明に至る豪雪の爲北海道釧路線鹿越金山兩驛間五十五哩十鎖より五十七哩十五鎖までは雪量五尺乃至二十尺に及び列車の運轉全然不通となり落合驛より一日午前一時頃排雪機關車を出し同二時頃現場に著し極力排雪に力めたるも容易に捗らず列車は停止し其後降雪益甚しく交通杜絶せり（旭川）

◉暴風雪は永くは續くまい

五日の午後二時半に風強かるべしとの警報が出た而して同午後五時半頃には京城附近では一時强風が吹雪を捲いて險惡の天候を呈した、此は北龍岩浦附近に出現した七百六十ミリメートル許りの小低氣壓が漸次東進する影響を受けたもので、決して永く續く天候ではない軈て回復する模樣である、併かし時折り吹雪の襲來は免れまい（五日午後五時京城測候所員談）

◉廣江煙草の景品附賣出 廣江商會總販賣所に於ては昨五日より京城仁川兩市內に於て景品附賣出しを決行したるが其景品の如き一等白米五斗入一俵宛十本、二等…二千本三等しらぎ一ボール宛五十本其他賣品附賣品にして一本の空籤なしと

◉若い時分

青年の鐵勇

撓敗で鄕に遁つた西南役へ無理從軍

陸軍中將井口省吾氏談

なに、我輩の若い時代の事を聞きたいと云ふのか、驚くなかれ……と云つた調子で居られるものか……命を受けて下關まで出掛けたものだが殘念な事には恰もその時官軍は熊本と田原坂の聯絡がついたといふので再び元に追ひ歸へされたものである、猶ほ明治八年にはわが雲揚艦が朝鮮江華島で擊たれた爲め日本からは黑田淸隆中將を特派

◇寺小屋一つ無い 田舍であつたから其頃は每日一里餘の山道を降つても照つても缺かさず通うたものである、無論電車は無い程の土地であるから友達の多くは中途にして廢したやうで…

◇野外の遊び許り で日を暮したものであるが、此事は

◇士官學校時代の 生徒の元氣か、それは到底今日の青年と比較にもならぬ程亂暴であつた我輩共が入學した翌々年は例の西鄕隆盛の西南の役が勃發したので、當時のわれ〳〵は戰場に行きたくて堪らず、今や九州の一角では生命のや

◇試驗などを受け りとりを行つて居るのに

◇大西鄕の征韓論 が起つたものである、當時大西鄕は廟堂の反對にも屆せず我に一箇大隊の精銳あれば鷄林八道を席捲して見せると豪語したといふをだが成程今のやうに事情が解つて見れば當時から朝鮮の人心は腐つて居たから確かに能きたかも知れないのである、日本などでも要心しないと今のまゝでは人心が腐つて了ふぞ

朝鮮短歌會

第二回合評會 四月二日午後正一時より

優等清酒　一鶴　發賣元　本莊酒店　京城

小說

貯蓄預金　株式會社十八銀行京城支店　諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務取扱

醇良清酒　體裁優美　一打半打化粧箱詰　發賣元

內科小兒科　皮膚病花柳病　入院隨意　京城日出小學校前　多々見醫院

東京竹內製金庫の堅牢確實なるは既に世に定評あり
◎金庫を使用せざる人は財寶を貴ばざる人なり
◎財寶即ち生命なり金庫は遺憾なく之れを保護す
特約販賣店　和洋金物商　本藤次郎本店　京城本町

入院隨意　酒井婦人病院　京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　電話二六〇番

無双醇良清酒　薫　衛生無害　品質無双　首藤合名會社吟造
精白米御小賣　キリンビール　サッポロビール　醬油龜甲萬　各種シトロン　三矢サイダー　引札各種
朝鮮發賣元　首藤京城支店　電話一一七一番

內科小兒科　入院隨意　京城明治町（元善隣學校隣）　院長中島貞　電話三七八番　中島醫院

◉盛んな支那移民

昨年洪水を蒙りたる…

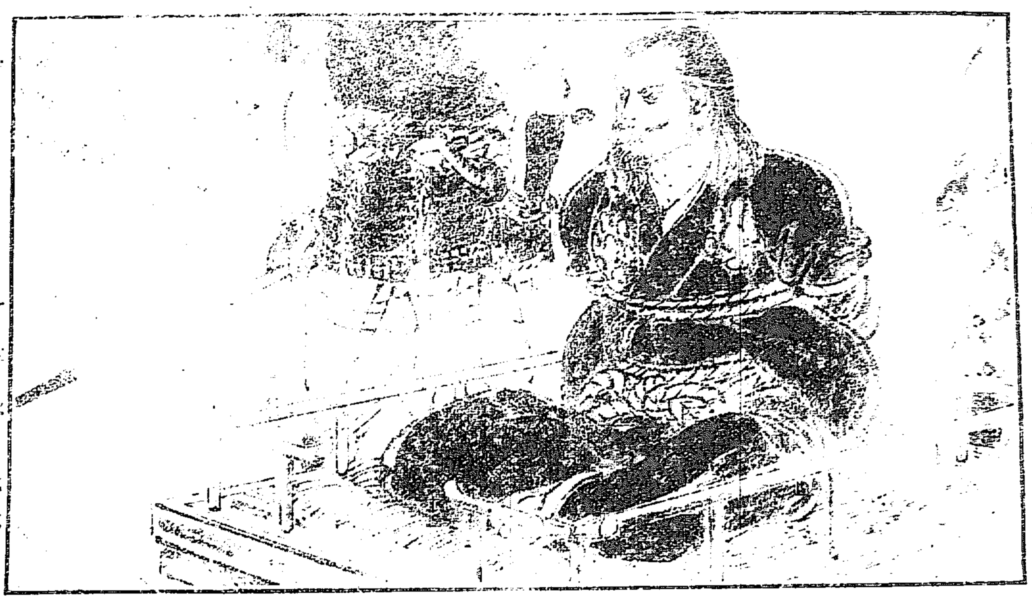
千生瓢 （145）

須藤南翠作　筒井年峰畫

凱旋（十）

やがて森勘八を呼び出して、檳の島に使者に遣はし、佐久間盛政、柴田勝久に切腹を申し渡させた。玄蕃允盛政は其下知を聞いて、呵々と笑つた。

『死刑は固より覺期の前。委細心得た。さりながら、我等聊か望みがある。それ聽き届け得させらる



うか。何うだ』

山口、副田は傍らより

『盛政殿が御望みとあらば、我等兩人、身に代へて叶はせ申さう』と快よく一諾した。

『早速の承知忝ない。望みの仔細別儀でない。只今こゝにて死するに於ては、誰あつて鬼と呼ばれた佐久間玄蕃が、最期の狀を知る者がない。さるに依つて、先づ我等を繩下の體にて車に乘せ、一條の辻より九條まで引下させ、上下の者に篤と見せしめられい。是れが則ち玄蕃允の最期の望みおざる』

盛政は平然として斯う言つた。森も山口も副田も、一行に即答が成り兼ねたので、一應評議を凝らしたが、切腹とある御諚の表に相違する上は、更に御旨を伺はねばならぬといふ事に歸著した。

仍つて此事を秀吉に申し立て、其指揮を受けると、秀吉は手を拍つて笑つた。

『變つた奴を好む男ぢや、鬼にも角にも聞えた者だに、彼奴が好みの[illegible]うに致して遣はせ、其方が切ての心行りぢや』

で、直ぐ挺を新調して、十分に美しく裝飾を施し、また小袖二領を裁て、當日著用の料とした。盛政は之を一見して、

『筑前等は好い氣前ぢや。大分に氣張られたげぢや。去りながら、紋柄仕立樣が氣に入らぬわ。我等が望みは、大紋の紅の廣袖にして、裏は紅梅を附けて貰ひたい。此花やかな装束を著して、彼の美しい車に乘り、上京より下京一帶を渡さるゝ時は、あれ見よ、昔に聞えた鬼佐久間が渡さるゝは、鬼も今は最期ぢやさうなと、洛中洛外に言ひ囃すであらう。是れ又最前の誉名を増す手段[illegible]と念請した。

これを聞いた秀吉は

『さて／＼彼奴が膽は何處まで大きいぞ。心地よい事をほざくわ。よしよし隨分と花やかにして遣はせ。小袖一襲は、紅の廣袖に誂へて、大紋は金箔置にして與へさう。是れならば玄蕃允の氣に入るであらう』と指揮して、男顏死を樂む英雄を、愛惜にのみ耽つたのであつた。

佐久間玄蕃允盛政は、紅の廣袖、金箔の大紋を一著して、花やかな裝飾した車に乘りながら、[illegible]

[illegible]

行列は車の前に走り寄つて、[illegible]武士道を守り、隨分心を注けて、[illegible]の御諚。[illegible]御帶刀[illegible]

[illegible]盛政大の眼を瞋して[illegible]行を睨み拂えた。

『[illegible]の胸中が分らうかや。何處の國にか囚人に縄かけぬ處がある？引廻しの死罪の者に、帶刀を許す阿呆がある？敎賀の土民にさへ安々と縄縛られた玄蕃さは、京童子の知らいであらうか。其が縄目を脱れて車上にあらば、あれ見よ鬼佐久間の鬼味噌よ、洛中洛外を渡さるゝに、役人に哀れみを請うて、縄縛の恥を許して貰うたげな。さて／＼見るさへ大きざや。いざ法の如く引つ縛れ』

自ら手を後へ廻して、脊後を役人に摩り附けるのであつた。

凉しきは三伏の日の夕立。旱魃つゞきは殊によし。[illegible]太鼓。

悲しきは秋來る頃の宵。細かき雨のはら／＼と音して軒端がくれ蟋蟀のひた鳴くなど聞きたる、まいて今はわが亡き母、其のいまだ病院にありける時雨のひと夜、枕べ近う我をば招ねぎけり返し／＼はかなき言などのたまひしよ、間違に聞きたる其の夜の軒端の雨だれの音こそは今身にしみて遺方るなき。

［illegible］

□ソーウル詩話譯草

[illegible]

何故にしかわが儘をゆるさぬや人にかまわず死ぬる人々

あゝ月よポプラよ軒燈の赤き灯よ振り替れに背けり[illegible]

[illegible]

流離おはれふと逢ひしのみ放浪の君と我なりふと逢ひしのみ

同じ道行きつ戻りつする我に驚きわびて佇みにけり

昔がために今日も降れかし雨の心おちゐて書よむによし

湯たんぽのさめしを尙も抱きやり思ふことなくねてゐる我よ

募集短文

雨

京城　古都子

雨こそは折々につけいと哀れなれ。音もたく朽ちたる温突屋根を沾らせる冬の雨、そも夕つかた。まいて撞き出だす夕べの鐘に雪になりたるなどいみじうをかし。

のどけきは春雨。

さゝやかにも萌え出でたる芍藥のうす紅きに降るともみえば落つる、蒔きし草の種いかにと傘すこしたゝみて庭面におり行く人。うすじめりたる黑き土の香さと鼻をつき匂ひ來たるなどいと心地よし『玉容寂寞涙闌干梨花一枝帶春雨』など唐土のさほ詩人がいひたるそれはまた艶うも賢にいたましけれ。

新刊紹介

▲戰友（三月號）七錢東京市麴町區飯田町二の五二帝國在郷軍人會本部
▲新女界（八の三）十二錢東京市小石川區林町四三新人社
▲株式世界（一の一）株式選定通信主幹鈴木入郎氏が東京各新聞記者の後援を待て刊せるものなり十錢東京市下谷區清水町一岡村倉
▲茶業界（十一の三）十錢靜岡市追手町二二九の一其社
▲蠶業新報（二七六）十八錢東京市日本橋區箔屋町一四其社
▲農村青年（五の二）七錢東京市本郷區駒込林町其社
▲都會及農村（二の三）十五錢東京市麴町區平河町五の三六洛陽堂
▲新人（三月號）二十錢東京市小石川區林町三其社
▲流行世界（三の二）十錢東京市赤坂區一ツ木町六二其社
▲俳味（三月號）二十二錢東京市神田區豊島町四其社
▲青年團（三月號）十二錢東京市京橋區南鍋町五大日本青年團
▲兒童研究（一九の八）十六錢東京市本郷區西片町一〇其社
▲ゼ、ジヤパン、タイムス、スチユーデント、エヂション（五の一四）十錢東京市麴町區內幸町ジヤパンタイムス學生號出版所
▲書畫骨董雜誌（九三）十五錢東京市芝區佐久間町一の三其社

●戰地から贋物の夫

歐洲戰亂に關し種々の奇聞がある。是は又爲眉々なしき話である、[illegible]

[illegible]ポリ半島に轉戰して居る、[illegible]ヘダンデイ曹長に酷似な男[illegible]ら歸つて來て『俺はお前の[illegible]

[illegible]矢張り挨拶に出征して居た本名[illegible]いふ兵卒で野戰病院を逃[illegible]者だと判つた、恰度主[illegible]

さの餘り早速家に引入れて夫は曹長[illegible]なのに兵卒服を着て居るのも氣が附[illegible]かなかつたが顏が少し違ふので不思[illegible]

な[illegible]すると男は何時でも『俺は戰爭[illegible]記憶力が無くなつた』と言つた、[illegible]近所の人は遊びに來て戰爭の噺など[illegible]

行つた細君の弟の許へ伴れて行つて[illegible]南阿戰爭の噺をさせて見ると矢張り[illegible]記憶力が無くなつたと言つた、[illegible]

著て來たのは何故かと聞いたら『野[illegible]戰病院から逃げる時他の兵卒の服を[illegible]借りて來たのだ』と答へた、夫の[illegible]

子が可笑しいので細君は遂々『お前[illegible]がダンデイでないと確かな證據がなけれは今後は家へ置かぬ』と言ひ出し

主か亭主でないか疑き判らぬか[illegible]訊かれたら細君は『サツさ顏を見て居ると亭主だといふ樣な氣もしま[illegible]

宮內省御買上品

▲大變な人氣を引起した

白色美顏水の話

【問】此頃婦人方のお化粧が以前と違つて、大變に清新で、如何にも氣持よく美しいお化粧顏の方が多いのは、一體何ういふ譯なので御在ませう。

【答】[illegible]

【問】では彼麼に美しい氣持のよいお化粧をなさるのに何か新式の六かしいお化粧法でも出來ましたのですか。

【答】はい、否、新式には違ひ御在ませんが、少しも六かしいところでは無く、却つて手つご勞の無い誠に手輕なお化粧の遣方なので御在ます。

【問】其れは不思議では御在ませんか。あの舊式の不完全なお化粧でさへ、さあお化粧こなること、チツトやソツトの苦勞ぢや御在ませんのに、此頃の、理想的とも申度い、全てお化粧したとは見えない生れつき色が白いやうな色艶と白さを有つた、何とも言樣の無いあの美しい淡化粧が、那麼に苦勞なく出來るもので御在ませうか。

【答】[illegible]

【問】成程然う御在れば白色美顏水といふ名は聞いて居ります、併し那麼に珍しいものが日本で出來るのですか。

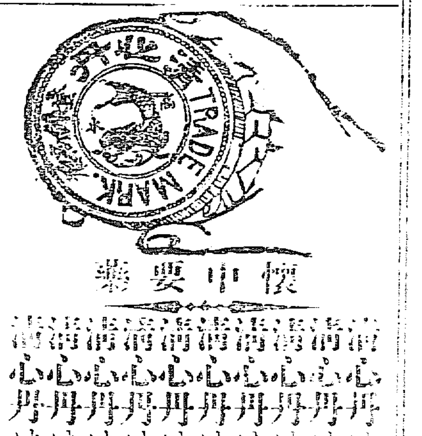
【答】それが出來る譯が御在ますんです。白色美顏水は、顧問の丹波山本二博士指導の下に藥學士が居られる桃谷研究試驗部で學者方が長い間研究して製へたのですもの外國品にも優る筈で御在ます。從來の水白粉などゝ、形は兎も角作用の全で違つた、不思議な薄化粧料も出來ます筈です。白色美顏水は普通の水と白粉を混ぜた樣な物でなく學者が發見した新規の美容素と或特種の白粉で出來てる爲生れつき色が白い樣な薄化粧も出來其上皮膚が荒れず、生地まで綺麗になる作用も在ますので、一度使へば何人も感心なさるので御在ます。定價は一瓶十八錢です。

■白色美顏水を創製したる

桃谷研究試驗部

顧問　■丹波藥學博士　■山本醫學博士

專任　■桃谷藥學士　■小磯藥學士　■齋藤藥學士



懷中要藥

清心丹は[illegible]
清心丹は[illegible]
清心丹は[illegible]
清心丹は[illegible]
清心丹は[illegible]
清心丹は[illegible]
清心丹は[illegible]
清心丹は[illegible]
清心丹は[illegible]

至廉至便の國民百科辭典

大正五年 國民年鑑

四六版五千頁　並製五十錢　上製壹圓　郵稅八錢

年鑑の眞價に就き諸賢に謹告す

社會百般の事象は、駸々乎として進歩發達す。政治、經濟、財政、金融、軍事、外交、產業、教育、宗教、衛生、美術、文藝、運動、演劇、遊藝、相撲等、皆是れ年と共に進歩發達す。年鑑の任務は一目して是等事象の盛衰消長を明かにし、其の進化發達の跡を知悉せしむるにあり。故に百般の事象中、統計的事項の如きは勿論、各社會人物に關する事項の如きも、努めて最新の事質を調査記載せり。是れ自贊を待たずして、諸新聞雜誌が年々本書改良の事質を推奬紹介せる所以也。若し試みに、前年又は前々年の國民年鑑と本年鑑とを比較せらるれば、仔細に各種記載事項の如何に變化せるかを看取せらるゝならん。眞に現代に活動せんとする人士、殊に嘗て國民年鑑を愛讀せられたる人士、眞に年鑑の利用法を知らるゝの人士は、一千頁の大冊僅か五十錢の大廉價にて提供の好機を逸せず、速に一本を購讀せられよ。

大取次所　京城太平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

くすりは山岸

諸官衙御用達

洋藥　賣藥　醫療及試驗器械　卸問屋

懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候

京城本町二丁目郵便局前

山岸天佑堂　藥品部　器械部

電話 一一二〇・二七・六四二

振替貯金口座京城二〇三

生殖器療法

生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか陰萎早漏遺精夢精勃起不全交接不快腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器械を使用しする時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃如も詳細はハガキで申込あれ圖入說明書無代密送す直接來所者には附屬醫院部にて懇切說明す

高評益高きに羨み大阪に僞物有警戒せよ

東京神田かぢ町五　電話神田七二三番

東京 眞空療法研究所

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行

宮島丸	三月九日	午後五時出帆
吉辰丸	三月七日	
天智丸	三月十二日	

○木浦、釜山、長崎行（△は巖原經由）

安東丸	三月九日	午後二時出帆
城津丸	三月十八日	

鎭南浦、大連行

安東丸	三月七日	午後二時出帆
城津丸	三月十三日	
[?]州丸	三月十七日	正午出帆

大連直行

潮州丸	三月十九日	正午出帆
福州丸	三月十日	

群山、釜山、横濱行

潮州丸	三月廿五日	午後四時出帆
臨州丸	三月十六日	

清津、浦潮行（元山出帆）

[?]隆丸	三月六日	午後二時出帆
[?]北丸	三月十七日	
大智丸	三月廿二日	

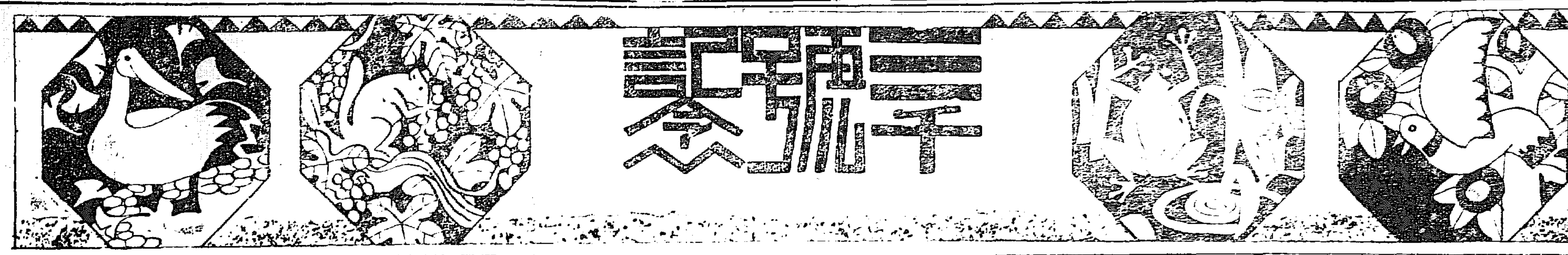
上海、基隆、打狗行（大連出帆）

安平丸	三月十六日	午後四時出帆
新高丸	三月廿四日	

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二番・二〇番・五〇七

京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番

▲割引 中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄一割引門司より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候



植民青年の資格要件（二）
鍛練せる身體＝訓練せる精神

□移住促進の動機

由來政治上の不平と經濟上の壓迫といふ此の二つは實に現代に於て多數人間の移住を促がすところの最有力なる原因である。而して如此原因に驅られて母國を出て行つた數百萬の獨逸人は主に北米合衆國と、其他加奈陀、墨西哥並に南米の一部分を選擇した。何故北米合衆國のみが獨逸人移住者の重なる目的地であつたかといふと其理由は自國內に於ける政治上の不平不滿足に在る。即ち獨逸國內では政治的關係が小國的で精神上不穩な專制な干涉が行はるゝのに反し、大西洋の彼岸米國は純然たる自治主義の政治で、其個人は皆大抵自選、而も人口は稀薄であり外來者を待つといふ有樣であつた。大抵の未開國では土著の住民があつて、其土民が必要な勞働力を供給するから移民勞働者の必要も亦從つて少ないけれども、獨り米國は之と反對で、土著の住民といふものは殆ど無い位で、苟くも働ける二本の腕をもつた人なら働き放題といふ有樣であつたから、全然無資產の獨逸人でも此國に行きさへすれば其處に新たなる故鄕を作ることが出來たのである。

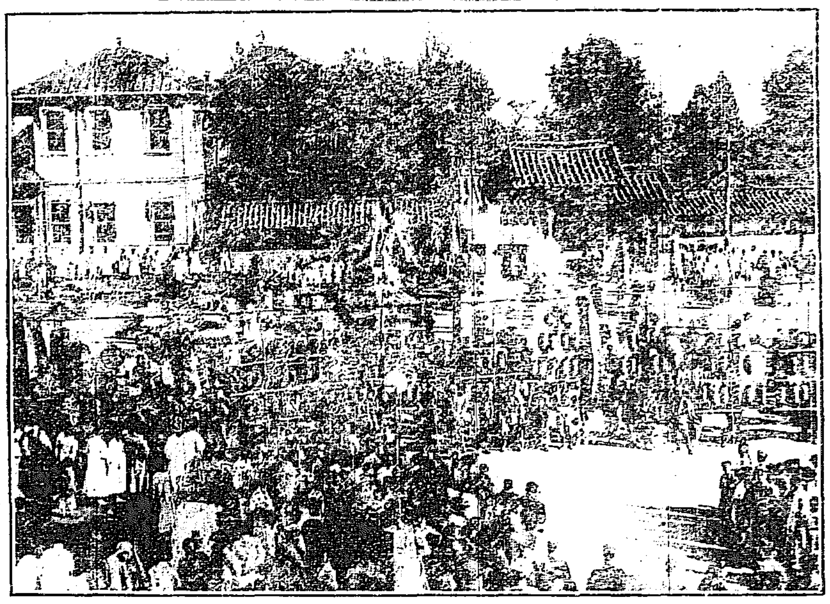
□資本の必要

然るに米國は獨逸人の移住地であつても植民地ではない、獨逸の植民地には米國のやうに移住に好都合な條件を具備した地方は一つも無い、類似した條件を有する土地すら無いのである。獨逸の何處の植民地に行つても白人が其家族と共に奴僕若くは農業勞働者として其生活の進路を始め得るやうな所はない、熱帶地方の農業で白人が直接に自分の慾望を滿足せしむることの出來る樣なそんな便利な地方は少ない。されば云つて多數の來住民に職を授くるほど盛大な澤山の工業は發達して居ない。故に獨逸の植民地に行く者は確かな地位を得て之に赴任する人でない以上、農業家にせよ將た商人にせよ豫め澤山な資本を用意して行かなければ成功の望み甚だ少なしと云はねばならぬ。

□更に必要なる資格

併し金、即ち資本を持つて居るといふ事は事業成功の上に單に外面上の一要件たるに過ぎぬ。金を持つて居れば確かに成功の助けとなるには相違ないけれども、如何に金があるからとて其外に幾多の資格を有し且つ充分に其資格を練磨しなかつたならば成功は決して就し得べきものでない。然らば金錢以外の必要な資格とは何んなものであるかと云ふに、それは性格と心情、體力的能力と自然を樂しむの精神、並に智識と教育から出て來るところのものである。其中でも一番重要なる資格は健全なる身體と節制的の習慣である。但し健全な身體と云つても單に健康なだけでは十分でない、健康な上に充分鍛錬したる身體でなければならぬ。[illegible]

[illegible]入する精神[illegible]すらも此の文明の新植民地たる植民地では求めて得られないことは甚だ少くない、而も其一方には荒寥寂寞の生活である。併し其一方には多少此の寂寞の生活を補ふものがある、即ち熱帶諸國には何んな貧しい土地でも直に我々本國人には想像も出來ない樣な天然の美觀がある。不思議なほど澄清な天空、碧空や天然の中に閃々と射し込む星の光、天然の種々なた野生の植物、熱帶產の[illegible]不充分である、善く訓練を經たる精神でなければ不可である。


十年間に於ける我社主催の重なるもの
（一）日韓併合祝賀提灯行列の光景

□到處青山在り

元來獨逸の新開植民地に於ける外界の生活條件は可なり憐むべきもので ある、住む家屋も宿る旅館も重な都市では兎も角も、其他の地方では實に幼稚なものである、食物は頗る單調で時に歐洲原產の物を求むれば其價が甚だ高い、文化の程度を同じうする同類の交遊會合する機會は甚だ稀で周圍の文明世界が我々本國人に與ふるやうなそんな刺激は全く缺けて居る。家庭を作つて團欒を樂しむといふ機會は頗る限られて居つて容易に出來ない。教會もなければ講演を聞く事も出來ない、劇場も無ければ博物館も無い、獨逸人が好んで出而して純潔な樂を與ふるのである。

□強者たるの誇

それから荒寥たる原野と鬪ひ、欝たる大川小川や獰人の出來ないやうな天然の森林と鬪ひ、又は肉食猛獸より、小は微細の昆蟲に至るまで何れも人類の敵たる各種の動物と奮鬪する事は、確かに實力の溌々たる人が困難に打克ち自然を克服して快心の笑を禁ぜざる大なる誇ではないか。是等の危險や障碍に打勝つのは既に本國で充分練り固めた身體を持つて渡來する人の獨り能くする所である徒步や騎馬や劍術や體操で充分に其の筋肉を固め、又自然界の現象の觀察に充分其眼と耳とを練熟した人でなくては是等の障碍に打克つ事は六ケしいのである。

近刊書御案內

名人大家 詰碁寶鑑 定價金二十五錢

現今名家 碁戰 定價金壹圓

新譯 碧巖錄 定價金壹圓

新撰 圍碁全集 定價金壹圓

詩傳 乃木大將 定價金八十錢

木葉集 定價金壹圓

黃金の林 定價金六十錢

京城本町 電話二〇八六番 振替京城[illegible]
大阪屋號書店

祝三千號記念
龍山元町二丁目
林田力松
電話百二十九番

祝三千號記念
京城府元町二丁目
吳服商組合

祝三千號記念
京城本町二丁目
和洋御菓子 貞嶋寒水堂
電話一四一番

祝三千號記念
群山本町
朝鮮銀行群山出張所
電話三一一番
電話三五四番

祝三千號記念
群山本町
不二興業株式會社
群山支店
電話四七番

祝三千號記念
群山港全州通
鮮人向雜貨卸商
弘津商店
電話二一八番

祝三千號記念
群山榮町
渡邊吳服店
電話三一〇番

祝三千號記念
發育良好消毒完全なる果樹苗木美味なる果實
朝鮮京釜線鳥致院
弘益殖產株式會社農場
振替貯金京城十番
電話鳥致院六番

祝三千號記念
群山淺山通三番地
群山電氣株式會社
電話一五二番

祝三千號記念
群山港
群山水產株式會社
電話一一五番

祝三千號記念
朝鮮群山全州通
貿易商 橫山與市商店
電話一〇二番
朝鮮群山明治町
橫山醬油釀造所

祝三千號記念
群山港本町
貿易商 中柴萬吉商店
電話二一四番

祝三千號記念
電氣銅　電氣亞鉛
鐵合金各種
大阪北區堂島北町
合名會社 藤田組
長木澤製材所杉板及材
北海道楢製材及材

通信事業の既往十年間(下)

通信局事務官 矢野義二郎

電話に關し特記すべき事項は警備電話なるものにして同電話の如きは是迄討伐上非常なる貢獻ありたるのみならず一般警察事務上にも亦公衆通信上にも多大なる利便ありたるなり朝鮮に於ける電話交換事務並に通話事務取扱局所數は大正五年二月末日現在に於て交換事務取扱局所四十五通話事務取扱局所百餘局所あるも十年以前にありては交換局所通話事務取扱局所は僅かに十局所あるに過ぎざりしものなり又電話通話數は十年以前に於ては一箇年四百七十萬餘通話ありしも最近一箇年に於ては三千八百五十二萬餘通話に達せり即ち十年間に於て八倍餘の增進ありしものとす

(五) 郵便爲替及貯金

明治三十九年一月當時に於ては郵便爲替及び貯金を取扱ふ局所は僅かに百餘局所に過ぎざりしも大正四年三月末日に於ては五百十六局所に達せり朝鮮に於ては主要の都邑地を除くの外は銀行其他の金融機關の普及なきを以て近時に於て貯蓄等に關しては郵便局所は有力なる金融機關として一般公衆の便とする所多大也

內地郵便爲替の振出數の如きは三十九年度に於ては口數三十一萬二千餘口金額六百五萬二千餘圓なりしも最近一箇年の振出口數百四十五萬三千餘口金額二千七百十九萬五千餘圓に達し即ち口數に於て約五倍金額に於て四倍餘の增進あり但し郵便爲替の增加步合比較的多からざるは振替貯金の利用者の漸增せしことも其一因なりとす

郵便貯金の如きは三十九年度末に於ては人員四萬八千八百餘人金額八十三萬五千七百餘圓なりしも大正五年一月末現在に於ては人員八十五萬餘人金額八百萬圓に達し非常なる增進なりとす特に朝鮮人の郵便貯金の如きは明治四十一年三月末日に於て人員四千二百八十四人金額三萬七百十圓餘なりしも今や人員六十三萬三千餘人金額百九十一萬餘圓に達し著しき增進ありと之れ蓋し貯金奬勵の結果鮮人に勤儉貯蓄の美風を鼓吹したるが爲めなるべし

次に振替郵便貯金に就て述べんに朝鮮に振替郵便貯金の口座主管廳を設けられたるは明治四十三年一月一日にして爾來同貯金口座に加入するもの次第に增加し目下人員三千百十八人金額五十七萬七千餘圓の現在高あり此振替郵便貯金制度は英米露佛等の諸國にも未だ實施なきものにして實に一般公衆に於て最も利便とする所なり

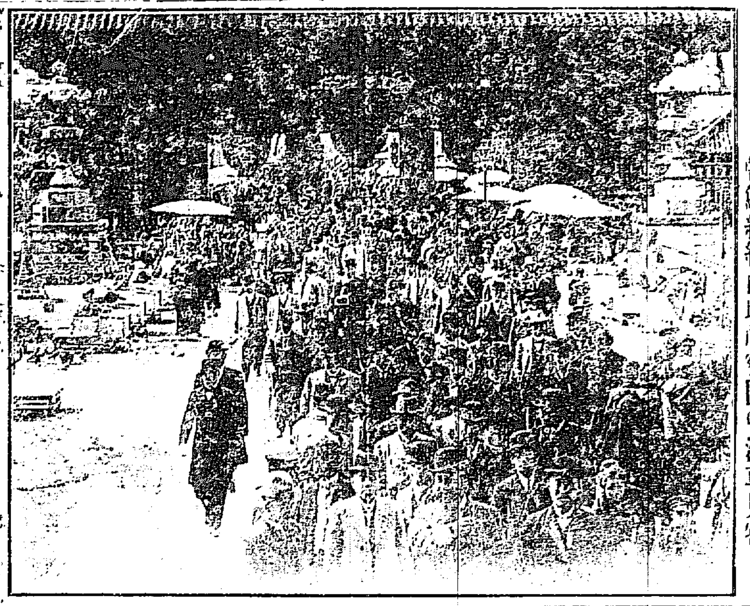
(六) 國庫金受拂事務

日本內地に於ては大正四年三月一日より各郵便局に於て國庫金の受拂事務の取扱を開始したりしが我朝鮮に於ては既に三十九年より韓國國庫金の受拂事務を開始し四十三年以降は朝鮮總督府所管の國庫金の受拂事務の取扱をなしつゝあり爲めに一般納稅者は勿論稅務關係者に於ても亦頗る利便とする所にして其成績良好なりとす即ち內地よりも九年丈け早く同事務を開始せるものにして同事務開始當時は朝鮮內地は各地に匪徒の出沒するあり又鮮人中にも種々の誤解をなすものありて其施行困難なるにも拘はらず遂に今日の如き成績を見るに至れりされば此制度は內地に於ては其効を疑ひしものありしも其成績の良好なりしが爲め內地に於ても同制度の實施せらるゝに至りしが如きは事業上慶賀すべきことなり

朝鮮に於ける通信事業の附帶事務として國庫金の受拂の外猶恩給年金支給事務あり同事務は明治四十三年四月一日より開始せられたるものにして年金恩給受領者の來鮮するもの增加するに伴ひ彼等の利便とする所多大なりとす現に大正三年度に於て朝鮮居住者の恩給年金受領せるもの三千九百十三人其金額三十一萬十一圓を算せり

右の外朝鮮に於ける貨幣整理の必要上明治三十九年以來葉錢並に舊白銅貨の引上げ其他補助貨幣の散布等に關し郵便局所に於て助力せる所頗る多大にして就中葉錢及び舊白銅貨の引上に就ては郵便遞送上種々の困難ありしものなり郵便局所に於て貨幣整理に助力せるは獨り朝鮮のみならず英國の如きも同國郵便局所に於て曩に貨幣の引上げに關し多大なる協力を示せしものなり

上述せるが如く既往十年間に於ける朝鮮の通信事業の發展は頗る著しきものあり且つ通信の收支關係の如き明治四十三年度よりは收支相償ふに至れりと雖も同事業の發展に付ては一は朝鮮の各地方に於ける匪徒の跳梁を絕ち完全に安寧秩序の保持せられたるに由りしと共に產業其他諸般の事業の進步發達せることも其一因なるも又一方に於ては斯業上其身を犧牲に供せしもの多かりしことも又其一因たり即ち地方の郵便局長並に局員中には警備機關の普及せざる地域に勤務し暴徒の一團の來襲する所となり遂に其殺害せられたるものあり又遞送人の其職務中匪徒の爲めに殺傷せられたるものあり其他通信工夫の電線建設又は其保守工事に際し暴徒の爲めに其身命を奪はれたるものあり或は遞送護衛に從事したる兵士憲兵警官の諸氏にして其任務中暴徒の爲め其生命を失ひしもの等あり又暴徒の難に遭遇せざるものと雖も交通不便の地に在勤し常に繁劇なる斯業に從事し偶々病むも直ちに醫師を招聘すること能はず又日常物資の供給すらも頗る不便なる地にありて遂に病沒の不幸を見たるものあり斯の如く朝鮮の通信事業發展の爲めには其身命を犧牲となしたる功勞者頗る多かりしものなり凡そ戰勝には幾多の戰死者病傷死者あるを免れざる如く通信事業發展に付ても亦以上の如く其身命を犧牲となしたる幾多の功勞者あるを忘るべからず


十年間に於ける我社主催の重なるもの
=朝鮮紳士內地視察團の淺草見物=

朝鮮に於ける商業取引(一)

京城商業會議所調査

左に掲ぐるは京城を中心とせる商取引の現狀なり

▲米穀商

一、鮮人間の取引方法

米穀仲買の主なるものは精米業者及各市場に於ける米商なるが、自から穀類を買入れて販賣する者は極めて少く、概ね貿易商より委託を受けて販賣する者なり、其取引方法は商品主より委託販賣品に對する手數料を受くるを例とす、其手數料の步合は一叺に付き一升の代金に相當する金額を普通とす、又[illegible]

二、內地人と鮮人との取引方法

內地人の貿易商と鮮人の仲買商との間に於ける取引にして、現金賣買を主とし掛賣の場合には三十日間を期限とし約束手形を振出す。

三、外國人と鮮人との取引方法

外國人には小賣商と消費者との間に於ける現金取引のみ也又支那商人にして夥多な各米商に販賣するものあるも現金賣買にして掛賣なし

▲布木商

一、鮮人間の取引方法 [illegible]

▲織紐商

一、鮮人間の取引方法

(一)京城織紐株式會社の小賣商に對する取引は現金を主とし掛賣は信用あるものに限り[illegible]

(二)[illegible]

祝三千號記念 西洋御料理 仁川宮町 東洋軒 電話五一九番

祝三千號記念 仁川濱町 仁川鐵工所 岡村勝太郎 電話二三八番

祝三千號記念 京城電氣株式會社仁川支店 山內篤 日比松藏 渡邊剛 古城良知 片桐籌男 渡邊操 宇津登一郎 西原太三 山門米藏

祝三千號記念 仁川通關組合(いろは順) ㊇堀商會 電話一〇番 川井田通關部 電話八〇番 ㊣內國通運會社 電話二八番 山田通關部 電話三四八番 慶田組 電話七二番 ㊗福島組 電話五三番 ㊚朝日組 電話五二九番 協同組 電話五二番

祝三千號記念 小間物化粧品 糸物諸雜貨 仁川本町四丁目 安保富藏商店 振替京城六六番

祝三千號記念 土木請負業 江華島花崗石販賣 仁川萬石町 稻田組 濱町出張所 電話四一二番

祝三千號記念 日鮮人向雜貨 仁川本町三丁目 井上藤吉商店 電話八六番 振替京城一〇〇

祝三千號記念 仁川海岸町三丁目 堀商會回漕部 同石炭販賣部 電話一〇番 原鹽 再製鹽 獨逸原鹽 販賣 仁川萬石町 (H)堀製鹽工場 電話一八五番 仁川海岸町三丁目 (H)同販賣部 電話一〇番

祝三千號記念 雛櫻印白酒 發賣 清酒「萬歲」釀造元 仁川花町 上城商店 電話七五八番

祝三千號記念 會席御料理 並に仕出し 大勉強 仁川宮町 食道樂 電話二五五番

祝三千號記念 朝鮮仁川 中華商務總會

祝三千號記念 日鮮向雜貨、鍋、釜 諸金物直輸入卸商 仁川京町一丁目 合資會社 玉植商店 電話六五一番 振替京城四一五番

祝三千號記念 歐米雜貨、支那織物商 仁川支那町 義生盛 電話八一八番

祝三千號記念 群山港 尼崎汽船部 群山出張店 電話二〇五番

祝三千號記念 穀摺精米 貿易商 群山港幸町 森菊五郎 本店電話一三番 群山港幸町 森精米所 群山港本町通 森菊輸出部 電話三三八番

祝三千號記念 群山全州通 貿易商 福田又支店 電話三二番

祝三千號記念 群山港 品川精米所 電話二二七番

祝三千號記念 土木建築請負業 群山明治町 北川組 電話三六番 全州北門內 北川組出張所 電話一四九番

祝三千號記念 群山本町通 大阪商船株式會社 群山代理店 電話一〇番 大澤商店 店主 大澤藤十郎 電話一五四番

祝三千號記念 陸軍御用達 諸雜貨食料品卸商 京城本町二丁目 藤田商店 (電話三一九番) 江原道春川 藤田支店 江原道平昌 藤田支店 忠清北道清州 藤田支店 黃海道新幕 藤田支店 黃海道新溪 藤田支店

祝三千號記念 仁川教育倶樂部 員一同

祝三千號記念 仁川仲町三丁目 會席御料理 柳家 電話一二九番

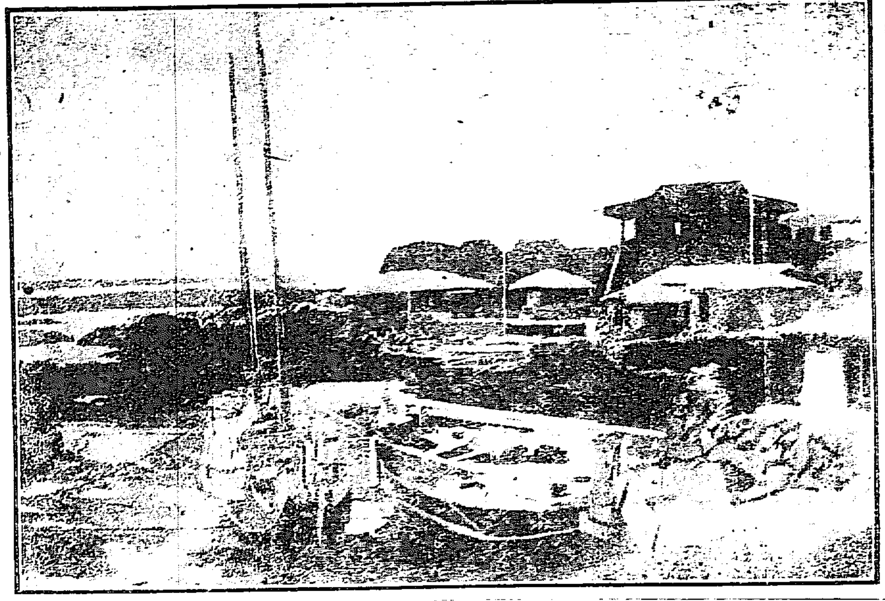
祝三千號記念 洋菓クリームキヤラメル ポケツト用 大拾錢 小五錢 家庭用 三拾五錢函 木村屋製品の眞價は洽く江湖の認知せらるゝところ今般大連滿鮮本店に於て英國式製法に依り製出したる本品は風味佳良滋養に富み眞に衞生的良菓にして之御試用の上是非舶來品との御比較を仰度候 京城明治町二丁目 パン元祖 木村屋支店 電話二八七〇番

祝三千號記念 京城岡崎町 ㊔印醬油釀造元 都味噌製造元 萬漬物問屋 嶋屋本店 電話二三三〇番

祝三千號記念 京城本町一丁目 ますや吳服店 電話四八三番

祝三千號記念 京城明治町二丁目 宇治屋茶舖 電話四一二番

祝三千號記念 京城西小門町 石炭商 西崎商會 電話七二七番



濟州島の朝天港

鷗の眠る靜かな日 巨浪吠えて荒ぶる日
濟州島海女の生活
＝男の役目は子守と炊事＝

釜山港から二百十五浬木浦埠頭から九十二浬南の濟州島は太古天地創造の神が地軸に插し給ふ一條の紅蓮と共に渺茫たる大海中に突兀として現はれたとは島の老人達が旅人に誇らしげに語る處であるが實にや海拔六千五百尺第三期死火山と稱せらるゝ

▲漢拏山は島の中央に聳え立つて其の巨口から噴き出した溶岩は累々として全島を覆ふて居る荏備たる濟州島は實に此の風化された玄武岩の黑い山と青い海とを背景にして古典的なる傳說や殊異な人情や風俗を持つて居るのである『鷗やひらめを慕ふて行けば千尋百尋眠やせん』只見る渺茫たる大海原は鷗が一羽三羽五羽と北の島から舞ふて來るのみで未だ飛魚の潑剌たる閃めきさへ見えぬ海は鏡の樣に平和な夢を結んで居る陽は彼方の海の底から雲を紅く燒いて居る此の時顔は赤銅の樣に緊張し髮は棕梠の毛の如く腕は豐かに逞しい

▲海女達の群が朝霞消えんとする海邊に集ひ出でゝ懐しい海に恍とした笑を洩らし乍らざんぶと飛び入るのである水禽の樣に身を泛かせた海女が片手に瓢をかゝへて背も無う沖へ沖へと進んで行く樣は恰も人魚の群が魔法の壁を抱いて沈默の海底に訪ひ行くかの樣で慣れぬ旅客は異樣な感に打たれるのである暫くして十數町の沖合に出づる頃ほひ海女は蜿曲に身を躍らし乍ら海の底深く沈み行くのであるが其の刹那諸足高く空につき上ぐるかと見る間に碎くる波の上には只瓢一つ漂ふのを見るのみである海は平である

▲鷗は飛ぶ鶚乃は靜かに聞える……暫くして海の彼方此方から黑い影が泛び出でるそして籠の中に獲物を靜かに藏れては又水底に沈み行く漫々たる潮の中に一年三百六十五日雨の日も風の日も浮き沈みつゝ和布、揚布、天草、鮑、螺等を漁る海女は海陸兩棲の獸の如く水に生命の絆を索かれ水に從ふて遠い海の國に浮漂なくとして流れ行くのである濟州島には三千以上の海女がある此れ等多數の海女の一部は濟州島の名物たる無盡の鮑や海草を獲つて平年數萬圓の額を得て居るが他の大部分は慶尚南北道は勿論江原道咸鏡道及び黃海道に迄買はれて行く濟州島に於ける海女の經濟上の地位は頗る重要な者である

▲濟州島の男は一般に淫卧で徒食に耽つて虛榮心が强いが女は之れに反して勇敢であり活動好きである彼等は野に耕し山に樵り海に漁つて爪甲洗膝な男性を養つて居るが殊に海女に至つては宛然河童の樣な眼覺しい働きをして遺憾無く海國女性の本領を發揮して居る黃海を吹きまくサイベリヤ風も日本海の暴風も必ず南鮮海を脅かすのであるが濟州島は其先に暴風と激浪に見舞れる海岸線に屈曲の甚い磯め渡海は一直線に陸を目蒐けて突進する其の勇壯の凄じさは島をも震はさうと思はれる程であるが斯うした日にも海女は夫に家を守らせて自身は

▲巨浪に乘つて海藻を採るのである「どうだ大和撫子の血統は爭はれぬだらう」今村島司は遠來の客の好奇心を唆る樣に遠い昔東の方神國の聖王から時の三神人高乙那良乙那夫乙那に才媛並び無い宮女三人を送つたと言ふ傳說を物語つた併し二千年大和撫子の種は徐々な地上に榮えて進取の氣象は男性を凌ぎ遠く海の外にまで雄々しい活動を試みて居るのである

動物獨語

馴鹿

オ、熱いや此れやベラボウだ、乃公や熱い冬てな故郷の樺太で大抵雪融けて拜んで居つたお太陽樣も大した事たア無えいや『秘密の松林の陰で曲りん棒の木の根ツ子の樣な角を生やして居る馴鹿が其の女房と話して居る角の少し短い顔の白い馴鹿の女房もださうな音をあげて『ホンとにね厭に蒸し暑い冬だね少しや雪でも降つたら好さゝうなものだのにね折角樂しみにして居た冬が斯んなんだあ、ほんとに何時まで經過つたら寒い思が出來るかと思ふとほんとに妾しや心細くなつて終ふよ』彼處を通る白熊の顔に似た奧樣の如うにショールで顔半分も埋めて居ながら『オー寒むッ』てな事實も云つて見たいものだね、『マア〳〵其樣にコボスなよ時世時節ちう事が有らあな、斯うして居ればこそ譯も明らねゑ樺太土人にイヤと云ふ樣尻を毆ぐられて鐵の樣な氷りツ原をヱンヤラ〳〵橇を引張り廻されもさうだねお前さんも妾も大切の角を木の枝に引懸けて目から火の出る樣な思ひをする事はなし、それに何より恐ろしい白熊の野郎が居やしないから此の上なしの安心なんだわね『その通り〳〵それに朝鮮も今年の冬は老人も覺えぬと云ふ暖かさうだから毎年から暖かな事も有るまいからそれを樂しみにして辛棒するが好いさ

狸

カチ〳〵山で俺等評判の好くねえ男だ、一體あの時だつてほんの出來心で、一寸惡戯をしたばつかりに背中には大燒傷をするし、散々ばら苦しみ拔いた揚句の果てが泥船に乘せられたんぢや隨分慘目な話ぢやあ、その噺、なにかと云やあ二タ言目にや、狸野郎だのヤレ狸爺だの狸の[illegible]だのと、ロクでもねえ時に限つて俺等の名前をタツ付けられるんだから割にも引きにも合つた事ぢやねえや、俺等の先祖はこれでも、鎌倉執權の代理まで勤めたものだ、それをきさあね、某とも其のお際で『狸囃』これ何んとか云つてお隣の『狸公』までが迷惑を蒙て居る次第だが……人間を瞞かすのは俺等の道樂の一つで何にも惡意が有つてする譯ぢやないんだ俺等一體生れ付きが道樂者で鼓も打てば躍りも踊る、八人藝の狸囃といふ奴もやらかせば、たまには八疊敷もオツ廣げる、京城へ參つてからも誰か瞞かしてやらうツてんでお隣の貉君とも折々相談して見てもドッシテ〳〵朝鮮くんだりまで出て來る程の者は俺等の手際では一寸六ケ敷い下手をすればゴ付くと捕つてブッ占められて狸の皮の襟卷なんざ有難くねえ話なんだ

枯柳
我老いて二兒既になし枯柳　麗水子
天窟張て氷積む驛や枯柳　同

冬木
冬木影病めるにむづかる兒　未知男
窓の冬木に涙こぼるゝ藥の香　宵扇

山茶花
山茶花や寺町に育つ子遊戯　未知男
山茶花や閑竟に鶏の羽根掘き　同
山茶花や果て淋しき婦人會　麗水子
山茶花鳥寐てのぼる宵の月　宵奴

寒菊
寒菊や次の間に鶏上りゐし　東村
庭荒れて寒菊咲くや漁具農具　韭城

茶花
茶の花や終日陽ある廻り縁　宵奴
町伸び麥に建つ家や茶の木咲く　同
家建てゝ湯殿未だし茶木咲く　義朗
事あれば集る商家や茶木咲く　同

水仙
病む母の傍去らぬ兒や水仙花　未知男
水仙や倉米を出す車數　麗水子
砂壁の光る夜更や水仙花　宵奴

草枯
草枯やあまり淋しき湖の色　東村
枯草や高原より人馬著く　同
枯草や軒に釣られし柝動く　同
漆のらぬ佛具修理や日短き　宵奴
寺嗣ぎし甥の便りや多籠　同
舟に當る氷の音や川暗し　同
歸郷して今年家嗣ぐや大根漬　麗水子
柴漬や水澁にとける舟の中　同
蜂居らぬ巣を掃ひけり冬の朝　同
歸るとき再び落葉踏にけり　東村
凍雲を見て居れば陽生れけり　同
乾鮭の戸や寒潮の日本海　韭城
春近しいねころ柳ほとほと　同
我に似るべき兒と隣る根深汁　宵扇
芝居出れば淋しきの冬夜かな　同
寒空や日のさす側の人通り　處中子

祝三千號記念
水原停車場前
優良種子 純正苗木 販賣
富國園
主任 農學士 北澤小八郎
營業案內進呈

祝三千號記念
京畿道水原府
香山商店
電話一二六番 電話四四番 振替京城二七三四
香山果樹園部
香山印刷部
山工業部
材木部
東洋生命保險株式會社
廣濟火災運送保險株式會社
浪速火災保險株式會社
代理店

祝三千號記念
官製無煙煉炭
日韓瓦斯コークス一手販賣
京城古市町
石炭商 苫米地商店
電話長一一二〇番九四一番

祝三千號記念
諸官衙御用達 內外農具製作 歐米農具直輸入
土工用及林業用具 農藝製絲器具 製莚製繩器械
器械及機械 寒暖計 乾濕計各種 人造肥料各種
害除虫サンソー液 穀
京城南大門通三丁目
三輪商會主 戶田春藏
電話長三八六番 振替三七五番
工場 旭町二丁目 黃金町一丁目

阿里山檜材の大飛躍

畏くも 明治神宮御用材として幾多木材中より御選定の光榮を得たる阿里山檜材は千古斧鉞を加へられたる事なき臺灣阿里山一帶の大深山より殆んど無盡藏に伐採せらるゝものにして實に帝國の一大寶庫たり其材質の堅牢なること內地檜材の如き遠く及ぶ所に非ず外觀亦甚優美なり宜なり一度國內に賣出さるゝや空前の大歡迎を受け瞬時にして外國產木材を驅逐し國產獎勵の實を擧げ得たるのみならず今や更に遠く支那南洋に至る迄旭日昇天の勢を以て外國產木材を壓倒しつゝあり如斯は實に阿里山檜材の如何に他材に比し優越せるかを明かに證するものにして眞に本材の誇也 今本材の特長を左に揭げんに

阿里山檜材 は內地產檜材に比し材質極めて硬く殊に耐久力に富み腐朽することなきを以て尤も堅牢を要する永久的建築用材として他に比類なし
阿里山檜材 は木理緻密目幅一尺以上の柾目取容易なるを以て最も高等向の用材として極めて好適なり
阿里山檜材 は材質堅牢なるか上に價格低廉なるを以て現下極めて不廉にして缺乏せる鐵材代用品として本材の右に出ずるものなし
阿里山檜材 は長さ六〇尺以上末口三尺以上迄搬出し得るを以て長大を要する使用向として最も適當なり
阿里山檜材 は他の針葉樹の如く使用後濕潤乾燥の爲め縱横共伸縮する憂は少なし故に建具其他指物用として盛んに好評を博しつゝあり
阿里山檜材 は朝鮮鐵道局を初め東洋各地至る所に於て空前の需要を喚起しつゝあり以て本材が如何に他材に優越せるかを知るを得べし
阿里山檜材 は扁柏と紅檜との二種にして扁柏は材質最良なるを以て高等用材として歡迎せられ紅檜は價格低廉なるを以て廣く需要せられつゝあり

臺灣阿里山木材各種
朝鮮一手販賣店
京城府岡崎町
大二商會
電話二〇九〇番

特約販賣店
仁川 大二商會　群山 木村支店木材部　平壤 中村組材木店
京城 小森材木店　群山 大澤商會木材部　鎭南浦 南浦木材商會
釜山 島末材木店　木浦 下村材木店　大邱 佐藤材木店
釜山 山本材木店　木浦 谷村材木店
元山 大二商會元山支店　木浦 渡邊材木店

御注文の節は多少に拘らず最寄特約販賣店へ御用命被仰付度候

臺灣阿里山木材各種 日本關西海外一手販賣元
大日本麥酒株式會社輸入 關東洲鹽販賣代理店
サクラビール醸造元 帝國麥酒株式會社代理店
株式會社神戶製綱所代理店
青島鹽直輸入販賣店
神戶 合名會社 鈴木商店 京城出張所
京城府南大門通二丁目
電話二九二四番 電信略號 受信ケイゼウカチタツ 發信タツ又は[illegible]

祝三千號記念

祝三千號記念 仁川 久水三郎

祝三千號記念 仁川 櫻井小一

祝三千號記念 仁川水道事務所 松田耕作 永井良作 佐治爲敬 兼行藤市 田中貞 鍋見戸喜次 早川巍 濱守清作

祝三千號記念 仁川 西川麻五郎 釜澤益太郎 谷野文之進

祝三千號記念 仁川 飯田茂登雄

祝三千號記念 仁川 上原堅一

祝三千號記念 仁川 布村茂隆

祝三千號記念 仁川花房町 三宅廻漕店 電話六十七番

祝三千號記念 仁川 伊東淸七郎

祝三千號記念 仁川 松元鶴熊

祝三千號記念 高津新二 朝鮮仁川府山手町三丁目 穴門筋角側電話九〇〇

祝三千號記念 會席御料理 仁川本公園 入阪樓 電話三六番

祝三千號記念 總督府度量衡器販賣所 仁川宮町一丁目 綿糸綿布卸商 (赤)赤松商店 電話七六六番 振替京城二三二番

祝三千號記念
貴金屬寶飾品 諸寶石 銀茶器花器 金銀盃木杯 賞牌及徽章 時計眼鏡各種
仁川本町
[illegible]商店
電話三七〇番 振替京城一七一番 電略イ

祝三千號記念 仁川內里 (三) 濟物精米所 電話八二〇番

仁川萬石町 (仁) 仁川製鹽所 電話三三九番

祝三千號記念 鐵原邑 會席御料理 廣島屋

祝三千號記念 鐵原邑內 砂糖、麥粉、白米 淸酒及諸雜貨 (金)米田商店

祝三千號記念 全國鐵道同盟旅館 高等旅館 大和館 主 藤內仁一郎 京元線鐵原邑內西端高地

祝三千號記念 鐵原憲兵分隊前 日の出旅館 館主 安部作右衛門

祝三千號記念 仁川商業會議所 會頭 奥田貞次郎 副會頭 森常吉 同 丁致園 記書長 和田友太郎

祝三千號記念 仁川山手町 御料理 うろこ 電話六八番

祝三千號記念 元山港旭町一丁目 御旅館 巴館 電話四五七番

祝三千號記念 (上)上島呉服店
▲御送金は振替口座京城一七七九番に願ひます
◎地方御注文は特に御便宜相圖り申候
◎御年始贈答御需用品の向き御報知を乞ふ
▲物價表定期に發刊す御申越次第送呈可仕候
◎元山港旭町二丁目
◎電話二百三十九番

祝三千號記念

株式會社 仁川米豆取引所